三方五湖エリア魅力アップ推進事業

区分 継続	経費区分 政策的経費 要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広
事業主体	実行委員会	★ 34	自 治 事	務	実行予算	事業 H30 年度	事業終了	
事業実施方法	負担金	事務		│ 夢 兼 │□	補 助 金	開始 経過年数	予定年度 (見直し年	R4 年度
補助率	定額		法定受託	事務 □ 万 ■	その他	年度 4 年	度)	
福井県長期ビジョン	分 野 〔3 楽しみを広げる(創造力))	関連する	県の計画等〔	古油水汤即	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	1.	٦
における位置付け	政 策 〔10 北陸新幹線開業効果を最大限)		木の前凹寺 し	同还义进册	迪 / フラョン・フログ / コ	Δ	,

[解決すべき問題・課題]

三方五湖エリアは、自然、景観、歴史、文化など多様かつ重厚な資源を有しており、新幹線開業時の重要な交流拠点エリアとなりうる。そうした中、大きな事業等が同時並行で進行しており、 これらを包括するべき大きな傘が必要。このため、平成30年度に三方五湖エリア全体協議会を立ち上げ、三方五湖エリアの「目指すべき姿」をステップアッププログラムとともに示した。今 後、各主体において、このプログラムを関係団体や地域住民と協力しながら着実に実行していく必要がある。

[事業目的]

ステップアッププログラムの進捗を管理しながら、協議会の下に設けた部会において、新幹線敦賀開業時までに解決すべき観光の問題点を検討し、課題解決のための事業の実行へとつなげてい く。

また、新幹線開業時に向けて、三方五湖エリアのブランドカを向上させ、効果的に発信していく。

- (1) 「三方五湖エリア全体協議会」の開催 (30年度~)
 - ・協議会を構成する観光、環境、農・漁業などの関係団体と県、美浜町・若狭町が、ステップアッププログラムの進捗を管理するとともに、 三方五湖エリアの課題や必要となる取組みについて議論し、エリア全体の更なる魅力アップに向けた施策を検討
- (2) 三方五湖エリア全体協議会専門部会の開催(令和1年度~)
 - ・専門部会を設け、三方五湖の課題の解決策を検討する。
 - 各課題に応じて、有識者(専門家)のアドバイスを受け課題解決に向けてサポートする。
- (3) 三方五湖ブランドカ向上・広報施策(令和2年度~)
 - ・北陸新幹線敦賀開業を見据え、観光ロゴマーク(令和元年度作成)を基軸にした広報施策の展開 (ロゴマークのターゲット(関東圏の女性およびファミリー層)を狙って訴求できる媒体(youtube等)を活用)

[受益者] 若狭地域		[想定される受益者数]			
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無□ 有 (役割分担)	事業名	三方五湖エリア活性化支援事業
市町との連携状況	美浜町、若狭町とともに協議会を構成	他県の状況			

三方五湖エリア魅力アップ推進事業

区分	継続	并	経費区	公 政策	的経費	要求	基準	内		部局	3名	交流文	化部		課	名	隺	見光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	E体	実行	委員会	숲						自 治	事				実行	予算	事業	H30	年度	•		
事業実施	 适方法	負担	金					事 務区分				事第	第		補助	金	開始	経過年数	攵	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	定額						L //		去定う	受託事				その) 他	年度	4	年	度)		
区分	事	業費		国庫	<u> </u>	起	債	その	の他		_	般財源					国	庫、その何	也財源の	の名称等		
予算額		1,	500									1,	500									
[予算額の推	:移等]																				(単位:	千円)
	区		分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年	度					-	令和3:	丰度予算	算額の増減	理由			
当	初予算	額の	推移	B	-	1, 628	1, 412	2, 000	1,	500												
2 月	現計予	算 額	の推	養	-	1, 628	1, 412					五湖ロゴマ マークにか					ュアル	基本ツー	ルを作	成		
	決 算 額	の推	移		-	836	1, 197					. ,		112								
前年度ま 主な増減	找理由																					
[成果指標等												_ _ ,, _								44 kb l= 11-		
	区		分		平成29年度		令和元年度		3年		中間目標			⊹ r ∓ıı .		□ ● 単編				• 積算根拠	+ 4#++ \	
成果指標	三方五湖(人)	の入込数	女(千	(目標)	(300)	(300)	(300)	(300)	(3	300)	(33	8)	:	ンボ-	ーラィ	インの数	値を準	拠		準(30万人)		
	\(\rangle\)			実績	286	282	371	(2)		(0)			1	中間	目標に	は観光と	゙ ジョン	の目標値	(H30年	度比20%増)	に合わせ	·る
活動指標	全体協議会	会の開催	Ė	(目標)				(2)		(2)												
「古衆の証件	<u> </u>			実績																		
[事業の評価	<u> </u>	前组	年度の)実績		実績を踏っ	まえた。	令和3	3年度の	変更点						-	事業評価	<u></u>				
を開催し	ウムの実施 が抱える認 、解決策を	型 限題 (周 €検討	遊、	交通、広報) -クのデザイ:												拡充継続		縮減		終期の見直し 完了	見直	
	ルを作成し															整理紛	:合 □	廃止		その他		△ 500

三方五湖エリア活性化支援事業

区分新規	経費区分 政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	観	光誘客課	課長名	獅子原 朋広
事業主体	若狭町、美浜町ほか		市 7 47	■ 自治事	務	□ 実行予算	事業	R3	事業終了	
事業実施方法	補助金		事務		日	口補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R6 年度
補助率	1/2ほか			□ 法定受託 ፤	孫	■ その他	年度	1 年	度)	
福井県長期ビジョン	分 野 〔3 楽しみを加	ばる (創造力))	関連する	県の計画等	〔宣违充通問	温マクシ	ョン・プログラ.	I.	ו
における位置付け	政 策 〔10 北陸新幹線	^{锒開業効果を最大限})		ボジョ・回寺	(同还又进闭	旭ノノノ	30° 70° 7.	4	J

[解決すべき問題・課題]

三方五湖エリアは、自然、景観、歴史、文化など多様かつ重厚な資源を有しており、新幹線開業時の重要な交流拠点エリアとなりうる。そうした中、大きな事業等が同時並行で 進行しており、これらを包 括するべき大きな傘が必要。このため、平成30年度に三方五湖エリア全体協議会を立ち上げ、三方五湖エリアの「目指すべき姿」をステップアップ プログラムとともに示した。今後、各主体において、このプログラムを関係団体や地域住民と協力しながら着実に実行していく必要がある。

[事業目的]

北陸新幹線開業時の重要な交流拠点となる三方五湖エリアにおいて、県・町・地元が一体となって観光の目玉づくりを加速させ、誘客促進を図る。

[事業内容]

三方五湖エリア活性化にかかる支援

観光拠点のレベルアップ

- ・レインボーライン山頂公園観光施設改修・整備
- ・三方五湖遊覧船建造・レークセンター整備
- 舟小屋改修 等

[受益者] 若狭地域		[想定される受益者数]			
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 (役割分担)	事業名	三方五湖エリア魅力アップ推進事業
市町との連携状況	美浜町、若狭町とともに協議会を構成	他県の状況			

三方五湖エリア活性化支援事業

区分	新規	経	費区分 政	策的経費	要求	基準	外		部局名		交流文化部	部	果名	観	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	E体	若狭町	、美浜町ほか					■自	治 事	務		□ 実行	予算	事業	R3	0	7 7 7 1 1		
事業実施	拖方法	補助金					事務区分				事業区分	□補	助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R6	年度
補助	率	1/2ほか	יין					┃ □ 法	定受託	事 務	_ //	■ そ	の他	年度	1	年	度)		
区分	事	業費	[3]庫	起	2債	そ(の他		一般	財源			国	庫、その他	財源の	の名称等		
予算額		193, 53	35								193, 535								
[予算額の推	移等]																	(単位:	千円)
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	Ę				令和3年	F度予算	算額の増減	理由			
<u> </u>	首初 予 算	額の推	移					193, 5	35										
2 月	現計 予	算 額 <i>0.</i>)推 移																
	決 算 額	の推移																	
前年度ま 主な増減 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	越理由																		
[八木]日宗寺	区		,	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	F 山間	目標	最終目標			日煙	・	そうち	• 積算根拠		
成果指標	三方五湖の人)			(300)	(300)	(300)	(300)	(30		(338)	以小:口1示	新型コロ ンボーラ	インの数	も踏ま値を準	え、当面2 拠	8年水	準(30万人): 主度比20%増)		
活動指標	舌動指標 実績											事業内容	が拠点整	備等へ	の支援でな	あるたる	め活動指標の	設定なし	
[事業の評価	i]	** <i>F</i>	1	中纬七叶	+ = + 4	近の左曲	の本語	五上				=	= *** == 7:						
		11年	度の実績				実績を踏	まえた令	1413年度	の変				T		業評価		I	
													拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
													継続		休止		完了		
													整理統	合 口	廃止		その他		

嶺南広域サイクリングルート整備事業

区分 新規	i	経費区分	i C	效策的経費	要求基準	外		部局名		交流文化部		課名	観	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主体	県、	市町ほ	か			± 24	•	自 治 事	務	+ **		実行予算	事業	R3		事業終了		
事業実施方法	補助]金				事務	l			争		補 助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	I	R7 年度
補助率	1/21	まか						法定受託	事 務			その他	年度	1	年	度)		
福井県長期ビジョン	分	野	[3	楽しみを広り	ずる (創造力))	関連す	る県の)計画等	٦	高速交通開	涌アクシ	ョン・プロ	グラノ	<u>'</u>	٦	
における位置付け	政	策	[10	北陸新幹線開	昇業効果を最大限)		ω /IC v	7 H LA T		问些人地所	1,000 / / /		, , , -	-		

[解決すべき問題・課題]

三方五湖周遊ルートを核としたナショナルサイクリングルートの認定を目指す。

[事業目的]

三方五湖周遊ル一トを核としたサイクリングルートを整備し、ナショナルサイクリングルートの認定を目指すとともに、北陸新幹線開業に向けて、国内外のサイクリストやファミリー層などの 誘客を図る。

- ①ルートロゴマークの作成
- ②サイクルステーションスタッフ研修会の開催
- ③ツアーガイドの養成
- ④サイクリングイベントの開催
- ⑤ゴコイチプロモーション 等

[受益者] 若狭地域		[想定される受益者数]			
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 (役割分担)	事業名	三方五湖エリア魅力アップ推進事業
市町との連携状況	嶺南6市町、観光協会等とともに協議会を構成	他県の状況			

嶺南広域サイクリングルート整備事業

区分	新規	彩	圣費区名	分 政策	的経費	要求	基準	外		部局	名	交流文化部	3	課	名	죝	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	E 体	県、	市町ほ	か					■ É	治	事 務			実行	予算	事業	R3	0	事業終了		
事業実施	方法	補助:	金					事 務区分				事業区分		補助	カ 金 📗	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R7	年度
補助	率	1/2(₹	ほか					L //	口法	定受	託事務		•	その	D他	年度	1	年	度)		
区分	事	業費		国庫	1	起	!債	その	D他		一 舟	段財源				国	庫、その他	財源σ	2名称等		
予算額		7,	814		3, 907							3, 907	地方	5創生排	推進交付	金					
[予算額の推	:移等]																			(単位:	千円)
	区	:	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年	度					令和3	年度予算	算額の増減理	里由			
当	初予算	額の	推 移						7,	814											
2 月	現計予	算 額	の推	移																	
	決算額	の推	移																		
前年度ま 主な増減	找理由																				
[成果指標等																					
	区	:	分		平成29年度	30年度	令和元年度		3年		中間目標			ue.	54		・指標の考				
成果指標	三方五湖の)入込数	(千	(目標)	(300)	(300)	(300)	(300)	(3	00)	(338)					∦も踏ま 対値を準		3年水準	纟(30万人)	を維持・	※レイ
	人)			実績	286	282	371											(H30年	度比20%増)	に合わせ	る
活動指標	サイクリン		ント等	等 (目標)						(1)											
	実施件数	(四)		実績																	
[事業の評価]	前名	手度の乳	宝结				実績を踏っ	士 ラ たく	金田った	年度のか	· 再占					車	業評価	5		
		月ij 千	十茂の元	大根				天根で四の	よんだヿ	3 作り 3 -	十段の多	. 史尽				Τ_					
															拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
															継続		休止		完了		
															整理紛	i合 □	廃止		その他		

観光統計調査事業

区分 継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	交流文化	;部	課名	観	光誘客課	課長名	獅子原	朋広
事業主体	県			市 7 47		自 治 事	務		実行予算	事業	H25 年度	事業終了		
事業実施方法	直営			事務			日		補 助 金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率				- /3		法定受託事	務		その他	年度	9 年	度)		
福井県長期ビジョン	分 野〔	3 楽しみを広げ	ずる (創造力))	関連する	県の計画等	r	ふくい観光し	ざいっつ			1	
における位置付け	政 策〔	10 北陸新幹線開	業効果を最大限)	因性する	ボジョ 凹守		クン、	- / = /			ر	

[解決すべき問題・課題]

県内の観光入込数や観光消費額を的確に把握・評価するため、観光庁基準等に基づく観光統計調査を実施する必要がある。。

[事業目的]

観光庁の「観光入込客統計に関する共通基準」に対応した観光客動態調査を実施することにより、本県の観光施策等への活用を図る。

- (1) 観光客動態調査
 - 〇調査方法 調査員による面接調査
 - 〇調査地点 県内主要観光地17地点
 - 〇調査項目 年齢・性別、旅行目的、旅行形態、交通手段、宿泊数、訪問観光地点数、観光消費額等
 - ○回収数 12,000サンプル以上(サンプル数には同行者数を含む)
- (2) 観光客動態調査(簡易調査)
 - 〇調査方法 調査員による面接調査
 - 〇調査地点 県内主要観光地13地点
 - 〇調査項目 訪問観光地点数、観光消費額のみ
 - 〇回収数 8,000サンプル以上(サンプル数には同行者数を含む)

[受益者]		[想定される受益者数]	
	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況		他県の状況	観光庁の「観光入込客統計に関する共通基準」により他の都道府県も 実施

観光統計調査事業

区分	継続		経費[区分 政策	的経費	要求	基準	内		部局名		交流文化部	3	課	:名		見光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	E体	県							■ 自	治	事 務			実行	予算	事業	H25	年度	事業終了		
事業実施	b方法	直	営					事 務区分				事業区分		補具	助 金	開始	経過年数	汝	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	_						L //	□法	定受詞	託事務			その	の他	年度	9	年	度)		
区分	事	業費		国原	Ē	起	債	その	D他		一般	財源				玉	庫、その	他財源の	D名称等		
予算額			4, 054									4, 054									
[予算額の推	:移等]																			(単位:	千円)
	区		分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3 年度	Ę					令和3	年度予算	算額の増減	理由			
当	初予算	額の	り推り	移	3, 981	3, 981	4, 054	4, 054	4, 0	54											
2 月	現 計 予	算象	頁の:	推移	3, 981	3, 981	4, 054	4, 054													
	決 算 額	i の 扌	隹 移		3, 035	3, 363	3, 951														
前年度ま 主な増減	找理由																				
[成果指標等												I	_								
	区		分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度		間目標	最終目標				目標	・指標の	考え方	• 積算根拠		
成果指標				(目標) 実績									1	事業内	容が統言	十調査で	きあるため	指標の詞	設定なし		
活動指標	調査箇所	数		(目標)	(30)	(30)	(30)	(30)	(3	(0)	(30)		إ	県内主	要観光均	也を設定	2				
				実績	30	30	30														
[事業の評価	<u> </u>	古	か年 庄 /	の実績				実績を踏っ	よう た 仝	・	(中の亦	市占						事業評価	T.		
		Ħ	リ十戊	の大限				天限で頃	よんだ节	から十	皮切変	天 从			14.	_ _					
															拡充	Ē [縮減		終期の見直し	見直	し額
・観光客動態	調査を30±	也点(本調査	、簡易調査含	む)で実施	ī,									継糸	ŧ □	休止		完了		
															整理約	在 合 □	廃止		その他		

環白山広域観光推進協議会負担金

区分継	. 经費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	交	流文化部		課名	観	光誘客課	課長名	獅子原	朋広
事業主体	環白山広域観光	光推進協議会		声 邓		自 治 事	務	# #		実行予算	事業	H11 年度	事業終了		
事業実施方法	負担金			事務				事		補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率	定額					法定受託事	務	E //		その他	年度	23 年			
福井県長期ビジョン	分 野〔	(3 楽しみを広げ	ずる (創造力))	関連する	■の計	- 画生	٢	ふくい観光し	***- * .			ו	
における位置付け	政 策〔	10 北陸新幹線開	昇業効果を最大限)		ホッゴ	凹寸	Ĺ	◇ \ レ ゙能元元 L	. / = /			J	

[解決すべき問題・課題]

福井県、石川県、岐阜県等が広域的に連携して環白山の魅力を積極的にPRを行い、中部縦貫自動車道開通に向けさらなる誘客を図る必要がある。

[事業目的]

福井県、石川県、岐阜県等が連携して白山周辺エリアの誘客と地域活性化を推進する。

[事業内容]

環白山広域観光推進協議会(3県4市1村)による観光誘客事業を実施

- (1) パンフレット・ポスター作成
 - ・環白山地域の観光地等を紹介するパンフレット、ポスターを活用しイベント等でPR
- (2) フォトスタンプラリー
 - ・フォトコンテスト
- (3)出向宣伝、マスコミキャラバン
 - 都市圏の報道機関や出版社等への営業
- (4) 特集ページ・ビデオによる魅力発信
 - ・協議会ウェブサイトの充実
- (5) イベントによる魅力発信、広報宣伝等

[受益者] 福井県、石	5川県、岐阜県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)	[想定される受益者数]	事業所数:福井県5,477、石川県7,410、岐阜県12,524 (H26経済センサス)
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況		他県の状況	石川県、岐阜県も同額を負担

環白山広域観光推進協議会負担金

区分	継続	経費	酸区分 政策	策的経費	要求	基準	内		部月	局名	交	流文化部	3	課	名		見光誘客	:課		課長名	獅子原	朋広
事業主	体	環白山	広域観光推進	協議会					自	治 事	務			実行	予算	事業	H1	1	年度	事業終了		
事業実施	方法	負担金					事 務区分					事業区分		補貝	カ 金	開始	経過4	年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	定額					_ //		法 定	受託事		- //		その	り他	年度	23	}	年	度)		
区分	事	業費	国	庫	起	債	その	の他		-	一般財	源				玉	庫、そ	の他見	財源の	名称等		
予算額		1, 00	0									1, 000										
[予算額の推	移等]																				(単位:	千円)
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3 年	度						令和3:	年度予算	算額の増	削減理	曲			
当	初予算	額の推	移	8, 000	1, 000	1, 000	1, 000	1	, 000													
2 月	現計予	算額の	推移	8, 000	1, 000	1, 000	1, 000															
	決 算 額	の推移	,	8, 000	1, 000	1, 000																
前年度ま 主な増減	找理由																					
[成果指標等									.		_											
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度		3年		中間目		最終目標								積算根拠		
成果指標	観光客入:		.) (目標) 実績	(12, 500) 13, 043	(12, 750) 16, 969			(18,	000)	(19, 0	00)	(20, 000)	令和 令和	□元年 □6年	目標値 目標値	13, 00 20, 00)千人()千人(観光:	新戦略 ビジョ	られる H26~F F2~R		
			(目標		(70, 000)	-		(70	000)	(70, 0	00)	(70, 000)										
活動指標	ガイドブ、	ック発行冊	·数 実績	25, 000				(70,	000)	(70, 0	00)	(70, 000)										
[事業の評価	<u> </u> 		大限	23, 000	70, 000	70,000																
E Japicas H. Ilm	•	前年原	度の実績				実績を踏っ	まえた	令和	3年度0	の変更	点						事	業評価			
・パンフレッ ・スマホスタ															拡充継続					終期の見直し	見直	し額
			、ラジオ、S	NSを活用)											整理約					その他		

福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会負担金

区分継続	経費区分 政策的経費 要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原	朋広
事業主体	福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会	± 34	■ 自 治 事	務	□ 実行予算	事業 H29 年度	事業終了		
事業実施方法	負担金	事務		日	口補助金	開始 経過年数	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率	定額		〕法定受託事	務	■ その他	5 年	度)		
福井県長期ビジョン	分 野 〔3 楽しみを広げる(創造力))	関連する	果の計画等	〔 ふくい観光比			ì	
における位置付け	政 策 〔10 北陸新幹線開業効果を最大限)		ボツ削凹寺	しかくい観光し	- / = /		J	

[解決すべき問題・課題]

日本遺産や鉄道遺産などに認定された観光資源等を本県の観光誘客に活用するため、福井県、滋賀県、京都府が広域的に連携して観光ルートの開発など実施する必要がある。

[事業目的]

舞鶴若狭自動車道(若狭さとうみハイウェイ)、京都縦貫自動車道の全線開通による新たな高速交通ネットワークを活かし、日本遺産や鉄道遺産、海湖と森の雄大な自然資産に美味しい食などの魅力を加えた新たな広域観光誘客を、福井県、滋賀県、京都府で連携して促進する。

[事業内容]

福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会(3府県)による観光誘客

- 〇日本遺産・鉄道遺産・歴史・自然遺産活用
 - ・新たな周遊モデルルートの開発(「日本遺産、鉄道遺産or戦国マップ」を刷新)
 - ・観光キャンペーン等による相互PR
 - ・鉄道遺産や海湖と森の自然資産の他、関連するガイダンス施設や体験メニューなどの観光素材集を活用した共同営業

[受益者] 三府県の勧	現光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)	[想定される受益者数]	事業所数:福井県5,477、滋賀県5,911、京都府15,965 (H26経済センサス)
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 高速道路網を活用した観光誘客事業 (役割分担) 上記事業の「海湖と歴史の若狭路」キャンペーンにおいて、三府県の日本遺産等をPR
市町との連携状況		他県の状況	滋賀県、京都府も同額を負担

福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会負担金

区分	継続		経費	区分 政策	的経費	要求	基準	内		部局名		交流文化部		課名		観光詞	誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	<u>·</u> 体	福井	キ・滋	賀・京都三府	県連携観光	促進協議	숲		■ 自	治 事	務			実行予算	事業	Ē	H29	年度	事業終了		
事業実施	方法	負担	金					事 務 区 分				事業区分		補助金	開始	ì 経	圣過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	定額	Ą					- "	□ 法	定受託	事 務			その他	年度		5	年	度)		
区分	事	業費		国庫	Ē	起	債	その	の他		一般	財源				国庫、	その他	財源の)名称等		
予算額		1	, 000		500							500	地方	ī創生推進交	付金						
[予算額の推	移等]																			(単位:	千円)
	区		分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度					令和3	年度予	7算額	の増減理	里由			
当	初予算	額の	推	移	1, 000	1,000	1, 000	600	1, 0												
2 月	現計予	算 額	(の)	准移	1, 000	1, 000	1, 000	600				コロナウイル 通りの事業等			業実施	色の見:	送り等に	こより1	負担金の減と	なったが	
	決 算 額	の推	移		1, 000	1, 000	1, 000					<u> </u>	~ <i>,,</i> _ (C 1 ~C							
前年度ま主な増減	注理由																				
[成果指標等			分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	山田	目標	最終目標			В	+== - +=	と描の字	シナ .	 積算根拠		
	区			(目標)	千成29年度 (12, 500)	(12, 750)	(13,000)	(17, 500)	(18, 00		, 000)										
成果指標	観光客入记(※暦年)		干人)	実績	13, 043	16, 969	18, 100	(17, 500)	(10, 00) (19,	, 000)	(20, 000)	令和 令和]元年目標値]6年目標値	13, 0 20, 0	100千ノ 100千ノ	人(観光 人(観光	;新戦略 ;ビジョ	各 H26~F iン R2~R		
				(目標)	(4)	(4)	(4)	(4)	(1)	(4)	(4)									
活動指標	三府県共同	司営業[回数	実績	4	4	4	()	`		(1)	()									
[事業の評価]																				
		前	年度(の実績				実績を踏っ	まえた令	和3年度	医の変!	更点					事	業評価	i		
・「日本遺産 ・「戦国を訪 ・三府県周遊 より中止	ねる旅マッ	ノプ」均	曽刷((3万部)	ルスの影響	B						事業につい 実施を検討		□ 拡 ■ 継 □ 整理			縮減 休止 廃止		終期の見直し 完了 その他	見直し	額

福井·石川広域観光連携事業

区分 継続	経費区分 政策的経費 要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光	光誘客課	課長名	獅子原	朋広
事業主体	越前加賀広域観光推進協議会	= ₹4	自 治 事	務] 実行予算	事業	H22 年度	事業終了		
事業実施方法	負担金	事務		│ ● 耒 │□	〕補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率	定額		法定受託事	系務 □ 万 ■	■その他	年度	13 年	度)		
福井県長期ビジョン	分 野 〔3 楽しみを広げる(創造力))	関連する	県の計画等	[ふくい観光し	ざジョン			ו	
における位置付け	政 策 [10 北陸新幹線開業効果を最大限)	因達する	宗の計画寺	し、ふくい我儿に	_ / = /			ر	

[解決すべき問題・課題]

北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道開通に向けて、石川県と連携して首都圏や関西・中京圏への観光PRを行い、誘客促進を図る必要がある。

[事業目的]

越前・加賀エリアとして県境を越えた一体的な圏域を形成し、域内の観光素材の魅力をまとめて首都圏や関西エリア等でPRすることにより、北陸新幹線等を活用した誘客と地域経済の活性化につなげる。

- (1)首都圏における魅力発信
 - ・観光施設や農協、漁協と連携して食や温泉などをPRする誘客イベントの実施
- (2) 関西・中京エリアにおける魅力発信
 - ・出向宣伝、旅行会社キャラバンの実施
- (3) 大手旅行予約サイトや旅行雑誌による発信事業
 - ・旅行予約サイトへのクーポン付特集記事掲載
 - ・協議会パンフレット作成
- (4) 広報宣伝活動等
 - ・高速道路SA、小松空港内PRコーナーへのパンフレット配架

[受益者] 福井県、	石川県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)	[想定される受益者数]	事業所数:福井県5,477、石川県7,410 (H26経済センサス)
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 北陸三県共同観光客誘致拡大事業 (役割分担) 上記事業は JRとのタイアップにより「北陸」として県外にPR するもので、本事業における越前・加賀エリアについても連携してP Rを実施
市町との連携状況	越前・加賀エリアの8市町が参加	他県の状況	石川県も同額を負担

福井·石川広域観光連携事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	内		部)	局名	183	交流文化部	3	課	名	í	観光誘	客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	体	越前加賀	[広域観光推進	協議会					自;	台 事	務			実行	予算	事業	Н	22	年度	事業終了		
事業実施	方法	負担金					事 務区分					事業 区分		補且	カ 金 📗	開始	経過	年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	定額					- "		法定	受託事	事務	- "	•	その	D 他	年度	1	13	年	度)		
区分	事	業費	国国	Į.	起	債	その	の他			一般則	財源				Ξ	国庫、そ	その他	財源σ)名称等		
予算額		5, 000		2, 500								2, 500	地方	5創生持	推進交付	金						
[予算額の推	移等]																				(単位:	千円)
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年	度						令和3年	度予	算額の	増減理	里由			
当	初予算	額の推	移	4, 545	5, 000	5, 000	5, 000	5	, 000													
2 月	現 計 予	算額の	推 移	4, 545	5, 000	5, 000	5, 000															
	決 算 額	の推移		4, 545	5, 000	5, 000																
前年度ま主な増減	找理由																					
[成果指標等							1		.											44 44 I= U-		
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度		3年		中間目		最終目標								積算根拠		
成果指標	観光客入设 (※暦年)	込 数(千人)	(目標) 実績	(12, 500) 13, 043	(12, 750) 16, 969		(17, 500)	(18,	000)	(19, 0)00)	(20, 000)	令和 令和	□元年目 □6年目	目標値 目標値	13, 00 20, 00	0千人 0千人	(観光 (観光	お戦略	各 H26~F ョン R2~R		
活動指標		出向宣伝実施		(3)	(3)	(3)	(3)		(3)		(3)	(3)	首	都圏、	関西・	中京圏	图等					
	<u>数</u>		実績	3	3	3																
[事業の評価]	前左由	の実績				実績を踏ま	± = +-	△和	った中/	の赤き	5 上						市	業評価	5		
		削牛及	の夫棋				夫根で 頃	よんに	ᄁᄱ	3 年及り	ル変す	と 品				Т						
・パンフレッ ・インスタグ			=												拡充] 縮	国 減		終期の見直し	見直り	ン額
・インスタケ ・フォトコン (新聞、W	テストと連	携した情幸	最発信 P R											•	継続] 休	址		完了		
・ドライブマ															整理統	合「	〕 廃	手		その他		

観光レベルアップ事業

区分 継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	交流文化	化部	課名	勧	光誘客課	課長名	獅子原	朋広
事業主体	県			+ 34	•	自 治 事	務	Ιτ	■ 実行予算	事業	H23 年度	事業終了		
事業実施方法	直営			事務区分			事業	₹ }	口補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率				//		法定受託		,	口その他	年度	11 年	度)		
福井県長期ビジョン	分 野〔	3 楽しみを広り	ずる(創造力))	関連する	る県の計画等		[ふくい観光	ビジョン)	
における位置付け	政策〔	10 北陸新幹線團	開業効果を最大限)		が水の川岡寺		(SV V V EUDE				,	
[解決すべき問題・課題	[]													
「ふくい観光ビジ	ョン」目標(R	6 観光入込客勢	数2000万人)	の達成に「	句け、	専門家の	助言を取り	入扌	れ、本県の観	光施策σ)進行管理を行	う。		
[事業目的]														
	***		. = .	a 60 Julie		#.W. + == 7								
北陸新幹線敦賀開	業を見据れ、観	光各の満足度を	を一層高めるため	の観光施第	策の打	作進を凶る	0							
[事業内容]														
 専門家の指導によ	ス細ツ体等の世	: : #												
			本県の観光施策	を推進										
			1 214 2 130 2 130 2 14	C 1,2,7C										
 [受益者]						[想定され	この受益者数]	18,100千人(F	 R元年観光	客入込数)			
	■無								■ 無					
	□ 有 事刻	業名							□有	事業名				
******	(実績)					l 関連事	業の有無・		(役割分担)					
前事業の有無・実績							割分担							
市町との連携状況						仙山	県の状況							
11.17 2 17 12.175 17.70						127	, , , , , , , ,							

観光レベルアップ事業

区分	継続	経費	酸 政策	策的経費	要求	基準	内	剖	『局名	交流文化部	ß	課名	餧	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	E体	県					± 25	■自	治 事	務	■実	行予算	事業	H23	年度			
事業実施	方法	直営					事 務区分			事業区分	□補	助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	_						口 法定	三 受 託 事		□ そ	の他	年度	11	年	度)		
区分	事	業費	国	庫	起	債	そ(の他	-	一般財源			国	庫、その他	財源の	D名称等		
予算額		19	0							190								
[予算額の推	移等]																(単位:	千円)
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度				令和3年	F度予算	類の増減 理	里由			
当	初予算	額の推	移	955	564	3, 171	646	190	0									
2 月	現計予	算額の	推移	955	564	3, 171	646		R 3	オンライン会	会議による	る開催費用	の削減					
	決 算 額	の推移	,	588	519	1, 633												
前年度ま 主な増減 	找理由																	
[)从末阳标节	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3年度	中間目	標 最終目標			日堙	・指標の考	· ラ 古 。			
成果指標		<i>,</i> ,,		十八八八十八	00千及	月和九千及	2 十反	0 干皮	71914	13. 14.4.4.1.1.3.	ふくし	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ョン推			が事業目的であ	あるため	
江科 北井	羽 红人即人	보디*b	(目標)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1))	(1) (1)								
活動指標	懇話会開催	E 凹剱	実績	1	1	1												
[事業の評価]	V ==												-				
		前年周	度の実績				実績を踏	まえた令利]3年度 <i>0</i>)変更点				事	業評価	<u>ti</u>		
												」 拡充	•	縮減		終期の見直し	見直し	し額
ふくい観光	ビジョン推	推懇話会	の開催(1回))] 継続		休止		完了		△ 456
												整理統	合口	廃止		その他		

観光教育推進事業

区分 継紙	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	交流文化部	3	課名	観	光誘客課	課長名	獅子原 朋	広
事業主体 事業実施方法	県 直営			事務		自 治 事	務 事業		実行予算補 助 金	事業 開始	H27 年度 経過年数	事業終了予定年度	R4 ±	王度
補助率				区分		法定受託事	区分 孫		その他	年度	9 年	(見直し年 度)		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 l 政 策 〔		ずる(創造力) 昇業効果を最大限))	関連する	県の計画等	(ふくい観光と	ヹ ゔョン			J	

[解決すべき問題・課題]

新幹線福井・敦賀開業に向けて、地域の「稼ぐ力」を高めるため、地域リーダー・多様なプレーヤーの育成を推進していく必要がある。

[事業目的]

- 県内各地でDMO設立の動きが進むなか、地域の観光を牽引するリーダーおよび観光ビジネスを実践する多様なプレイヤーを育成し、地域の「稼ぐカ」を引き出 す。

- (1) 観光事業者やDMO職員等を対象とした「福井県観光アカデミー」の開講地域マネジメントコース(30名)、観光ビジネスコース(30名)
- (2) 高校生、大学生を対象とした観光教育 学校の授業における職業教育の一環として観光アカデミー講師、県職員等を派遣

[受益者] 受講者		[想定される受益者数]	60人 (観光アカデミー受講者)
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況		他県の状況	富山県 とやま観光未来創造塾

観光教育推進事業

区分	継続	経	B費区分 政策的経費 要求基準					Ę	吊名	3	交流文化部		課名		観光誘客	#	課長名	獅子原	朋広
事業主	E体	県					+ 34	■自	治 事	務	# #	■ 実	行予算	事業	H27	年度			
事業実施	地方法	直営					事務区分				事 業 区 分	口補	助 金	開始 年度	経過年	数	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	0						口 法5	と 受託 3	事 務		□ ₹	の他	十戊	9	年	度)		
区分	事	業費	国	車	起	!債	そ(の他		一般則	財源			[国庫、その	他財源	の名称等		
予算額		10, 35	57	4, 878			(諸)	60	0		4. 879	地方	創生推進	交付金.	、講座受調	料			
[予算額の推	 移等]	,		.,			(44)				,							(単位	: 千円)
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度					令和 3	年度予	算額の増	咸理由			
<u> </u>	前 初 予 算	額の推	. 移	4, 966	4, 966	4, 966	11, 037	10, 35	7										
2 月	現 計 予	算額の	推 移	4, 966	4, 966	4, 966	9, 325												
	決 算 額	の推移	;	4, 628	4, 700	3, 869													
主な増減	前年度までの 主な増減理由 R2~ 観光ビジネスコース(30名)を新設 [成果指標等の推移]																		
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目	目標	最終目標			目相	票・指標 <i>の</i>	考え方	• 積算根拠		
成果指標	観光アカラ	デミー受請	(目標) 情者数 実績	(30)	(30)	(30)	(60)	(60)	(60)	(60)	R2~	地域マネ 観光ビシ	ジメン ジネスコ	/トコース 一ス(30	(30名) 名) を開	 司設		
活動指標	観光アカラ	デミー開催	(目標)	(10)	(10)	(10)	(20)	(20)	(20)	(20)								
		7 1713 12	実績	10	10	9													
[事業の評価	1]	前年日	要の実績				実績を踏	主えた会え	∏3年度	の変す	百占					事業評価			
							大限と頃	o √ (~ 1 /	□○ 干皮	~ / 及又	∠/iii		」 拡	充 [□ 縮減		<u>₩</u> 終期の見直し	見直	<u></u> し額
	゛ミーを開請 ・ジメントコ ・ネス創造コ	ース (22	(名)										■継	続 [□ 休止		完了		
] 整理	統合 [□ 廃止		その他		

マイカー観光促進キャンペーン事業

区分 継続	経費区分 政策的経費 要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広
事業主体	県、福井県道路公社	★ 34	自 治 事	務	■ 実行予算	事業 H22 年月	事業終了	
事業実施方法	直営、補助	事務		│	■ 補助金	開始 経過年数	予定年度 (見直し年	R4 年度
補助率	10/10		法定受託事	務	」その他	年度 12 年		
福井県長期ビジョン	分 野 〔3 楽しみを広げる(創造力))	関連する	県の計画等	〔 ふくい観光ヒ	***		ì
における位置付け	政 策 〔10 北陸新幹線開業効果を最大限)		宋の前 四寺	しめてい観光し	- / = /		J

「解決すべき問題・課題〕

コロナや暖冬などの影響でマイカーによる旅行者が大幅に減少、旅行需要を回復させるための割引キャンペーンが必要である。

[事業目的]

マイカーを利用した観光客の県内での滞在・周遊を促進するため、県内の主要観光地を結ぶ有料道路の割引を中心とした観光誘客を行う。

[事業内容]

(1) 有料道路通行料金の半額割引

法恩寺山有料道路: ゴールデンウィーク、夏休み、1~2月(スキーシーズン)の土日祝日

三方五湖有料道路: 12~2月

(2) 半額割引利用者に対し、実施期間中に協賛店で割引等を実施

法恩寺山有料道路: 奥越エリアで実施 三方五湖有料道路: 嶺南エリアで実施

(3) 新 法恩寺山有料道路の平日県民無料化: 1~2月

[受益者] マイカー	利用の観光客、スキー客	[想定される受益者数]	750,000人
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	○大野市、勝山市 ・割引実施期間中のクーポン発行、スタンプラリー等の 企画と協賛店の募集 ○若狭町、美浜町 ・割引実施期間中のクーポン発行、スタンプラリー等の 企画と協賛店の募集 ・レインボーライン紅葉まつりを10月に実施	他県の状況	石川県 白山白川郷ホワイトロードを利用かつ石川県内に宿泊した 場合、片道の通行料金が無料 岐阜県 飛騨地域に宿泊した場合、通行料金が半額

マイカー観光促進キャンペーン事業

区分	継続		経費区	区分 政策	的経費	要求	基準	内		部局名	2	交流文化部	3	課	名	1	見光誘客	課		課長名	獅子原	朋広
事業主	体	県、	福井り	県道路公社					■ 自	治	事 務			実行	予算	事業	H22	2 4	年度	事業終了		
事業実施	方法	直営	営、補助	助				事務区分				事業区分	•	補助	⋼金┃	開始	経過年	F数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	10/	′10					?	□法	定受	託事務			その) 他	年度	12		年	度)		
区分	事	業費		国庫		起	債	そ(の他		一般	財源				国	庫、その	の他則	才源の	名称等		
予算額		33	3, 718					(諸)	1, 6	68		32, 050										
[予算額の推	移等]																				(単位:	千円)
	区		分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	Ę				•	令和3	年度予	算額の増	減理	由			
当	初予算	額の	推利		33, 140	32, 168	29, 332	28, 965	33, 7	18												
2 月	現計予	算 額	の指	推移	30, 741	32, 168	32, 091	32, 307		R3		:促進および !月) を実施		:需要 <i>0</i>	つ分散化	とに向け	、法恩	寺山有	有料道	路の平日県民	民無料化	
	決 算 額	の推	移		25, 554	30, 497	28, 857				•••		-									
前年度ま 主な増減 上な増減 「成果指標等	找理由																					
[%本]日 赤寸	区		分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	Е ф	間目標	最終目標				日桓	- 指煙(か老さ	方:	積算根拠		
	<u>-</u>		/3	(目標)				(300, 000)	(300, 00		00, 000)	(300, 000)	### ##	á±±x+t d	かまっ							
成果指標	年間通行台	汝		実績	248, 705			(333, 333)	(300, 00		,,	(555, 555)	中 剖	。石 沃 E 『縦 貫 E	ョ 勁 平 1 自 動 車 1	直主称伊 直永平岩	大野道), 000 路開道	百 垣 通後 1	10,000台増		
				(目標)	(168)	(168)	(168)	(168)	(15	(8)	(168)	(168)										
活動指標	割引対象E	日数		実績	168	168	168															
[事業の評価]													_								
		前	年度0)実績				実績を踏	まえた令	和3年	F度の変	更点						事業	Ě評価	İ		
・法恩寺山有 (GW中止	料道路の半 、夏休み、						例年第	□有料道路 ■施してい。 2月)を実力		引に加	コえ、平	日県民無料	化		拡充					終期の見直し	見直	し額
・三方五湖有 (9~11月)	料道路の半		-				・三方五法	胡有料道路		する9~	~11月か	、ら12~2月1	ı	•	継糸					完了		
								(観光需要							整理約	統合│□	┣ 廃⊥	E		その他		

福井を学ぶ体験旅行推進事業

区分	継続		経費区分	分 I	攺策的経費	要求基準	内		部局名		交流文化部	3	課名	観	光誘客課	課長名	獅子原	朋広
事業主	E体	県、	、(公社)	福井県	朗光連盟、市 町	Ţ	± 25		自 治	事務	Z + 414		実行予算	事業	H22 年度	事業終了		
事業実施	方法	直泊	営、補助				事務				│		補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	10,	/10、1/	′ 2					法定受討	E事務			その他	年度	12 年	度)		
福井県長期		分	野	[3	楽しみを広り	ずる (創造力))	即油は	- ス 旧 /	の計画等	r	ふくい観光と				٦	
における位	位置付け	政	策	[10	北陸新幹線開	昇業効果を最大限)	因達 9	ر اعد (ه	の前凹寺	Ĺ	◇ \ レ ゙推元ノL L	- / = /			ر	
「細油士がも	祖思 . 超明	1	_								•							-

[解決すべき問題・課題]

コロナ禍において、北陸3県が一体となって修学旅行、合宿等の教育旅行の誘致活動を強化する必要がある。

[事業目的]

福井ならではの体験の情報を積極的に発信し、本県への誘致促進を図る。

[事業内容]

旅行会社、教育関係機関への営業強化 【県観光連盟】

- 加 旅行会社、学校等への営業訪問 新 大手旅行会社を対象にした研修の受入
- 旅行会社向けのエクスカーション、首都圏における商談会開催(北陸3県、JR西日本、JR東日本と連携実施)
- (新 福井ならではの修学旅行向け体験プログラムの造成
- ・修学旅行における福井県オリジナル体験メニューの体験料助成 助成額 : 1,000円/人・泊

[受益者] 県外から	福井県への教育旅行者	[想定される受益者数]	94, 800人(H29)
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	・市町と共同営業・学生合宿助成は市町も同額を負担・市町および関係事業者間で、合宿の受入状況や取組事例などの情報交換会を実施	他県の状況	富山県 「富山で合宿!」誘致事業補助金

福井を学ぶ体験旅行推進事業

区分	継	継続 経費区分 政策的経費 要求基準						内		部局	局名	交流文化部	ß	課名	観	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	体		県、(公社	生)福井県観光	允連盟、市町	ī				治	当 事 務			実行予算	事業	H22	年度	事業終了		
事業実施	方法		直営、補	·助				事 務区分				事業区分	•	補 助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率		10/10、	1/2				?	口法	定	受託事務			その他	年度	12	年	度)		
区分		事業領	費	国儿	車	起	債	そ(の他		一般	財源			国	庫、その他	財源σ	2名称等		
予算額			11, 074		5, 537							5, 537	7 地	也方創生推進交	寸金					
[予算額の推	移等]																		(単位:	千円)
	区		分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年	复				令和3年	度予算	「額の増減3	理由			
当	初 予	算額	頁の 推り	移	44, 878	36, 486	42, 999	38, 651	11,	074										
2 月	現 計	予算	算額の	推移	33, 304	36, 486	41, 449	8, 487			R3 市町	主体の学生	合宿	助成事業につい	ては、	R2. 2補正	予算に	前倒しして実	施	
	決 算	額 0)推 移		33, 019	30, 977	34, 411													
主な増減	前年度までの 主な増減理由 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :																			
L		J				00 /	A	. <i>-</i> -	0.5	.	上田口 坪					#:## o #	· ~ <u> </u>	1± // 10 1hn		
	区		分	/ D +#\	平成29年度	30年度	令和元年度		3年		中間目標				日倧	・指標の考	え力・	恒界 依拠		
成果指標	県外か	らの教	教育旅行 者	(目標) 針数 実績	62, 884	97, 163	(100, 000) 104, 281	(100, 000)	(100, 0	00)	(100, 000)	(100, 000)	福井	‡県観光戦略の	数値目	標「教育的	依行者 数	対10万人」を約	迷続	
		b at at =1		(目標)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	ļ							
活動指標	合宿助 	灰制	度実施市町	T数 実績	15	15	15						県区	内17市町						
[事業の評価]													_						
			前年度の	の実績				実績を踏	まえた?	3和3	3年度の変	更点				事	業評価	<u> </u>		
・教育庁と連 学校が県内 ・北陸三県が 動画を作成	で修学が連携し、	旅行を	実施	誘致に取り組 <i>。</i> f会社とのオン			・北陸三県現地研修・おもてな	北陸エリ 県連携によ 多会を開催 よし体制の ら学習要素	る関東圏 奢き上げ	・ 関・関 ずを図	関西圏の校 図る研修会	長会の の実施		□ 拡充 継続 □ 整理統領		休止		終期の見直し 完了 その他	見直し	ン額

コンベンション・MICE誘致促進事業

区分継続	経費区分 政策的経費 要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原	朋広
事業主体	(公社)福井県観光連盟	= 3⁄2	自 治 事	務	□ 実行予算	事業 R2 年度	事業終了		
事業実施方法	補助	事務		事業 区分	■ 補助金	開始 経過年数	予定年度 (見直し年	R6	年度
補助率	1/2, 10/10		法定受託		□ その他	年度 2 年	度)		
福井県長期ビジョン	分 野 〔3 楽しみを広げる(創造力))	関連する	県の計画等	[ふくい観光は			1	
における位置付け	政 策 〔10 北陸新幹線開業効果を最大限)	肉ほりん	ボジョ四寺	(ろ、、、 い・既力しに	-/ = /		ر	

[解決すべき問題・課題]

北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県観光連盟が本県の観光地域づくりの中核となってさらなる観光振興と誘客促進を図る必要がある。

[事業目的]

国際会議や全国的な会議・学会等の誘致拡大に向けて、誘致活動の強化およびコンベンション主催者への支援等に取り組み、県内全域でコンベンション振興を図る。

- コンベンション部門の新設
 - ・開催助成金 国内900万円、国外1,200千円
 - ・広報・宣伝、観光PR、MICE誘致のためのイベント出展等

[受益者] 福井県の	親光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)	[想定される受益者数]	事業所数: 5, 477 (H26経済センサス)
前事業の有無・実績	□ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況		他県の状況	

コンベンション・MICE誘致促進事業

区分	新規		経費区	☑分 政策	的経費	要求	基準	内		部局名	3	交流文化部	3	課	名	頟	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	E体	(公	社)福建	井県観光連盟					■ É	治	事 務			実行	予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施	五方法	補助	ከ					事 務区分				事 業 区 分	•	補助	〕金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R6	年度
補助	率	1/	2、10/	/10				1 7	口法	定受	託事務			その) 他	年度	2	年	度)		
区分	事	業費		国庫	Ī	起	2債	その	D他		一般	財源				国	庫、その他	財源0)名称等		
予算額		29), 248									29, 248	3								
[予算額の推	:移等]																			(単位:	千円)
	区		分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年	支				4	令和3年	度予算	「額の増減	理由			
当	前初 予 算	額 の	推移	ž				50, 135	29,	248											
2 月	現計予	算額	の推	推 移				6, 243		R3	3 コンベ	ンション開	帽催助	成金申	請数の	減(R2	44件 →	R3 3	1件)		
	決 算 額	の推	移																		
主な増減	前年度までの 主な増減理由 [成果指標等の推移]																				
[成果指標等																					
	区		分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年原	要 中	間目標	最終目標				目標	・指標の考	え方・	積算根拠		
成果指標	コンベン	ション	参加人	(目標) 数 実績				(20, 000)	(20, 0	00) ((30, 000)	(40, 000)									
活動指標	コンベン	ション	開催件	(目標) 数 実績				(30)	(30)											
[事業の評価	i]				'			'		'											
		前	年度の)実績				実績を踏る	まえた?	3和3年	F度の変	更点					事	業評価	<u> </u>		
	. _ > .88 <i>/</i> 25	₩ ₵	÷≠₩³	*** 014			·MICE	∶誘致強化							拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
・コンベンシ ・MICE誘					2件(オン	ライン)	国内阴	開催イベン							継続		休止		完了	Δ	20, 887
															整理統	合 口	廃止		その他	_	,,

DMOによる観光地域づくり推進事業

区分新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	交流	文化部		課名	観	光誘客課	課長名	獅子原	朋広
事業主体	(公社)福井県	観光連盟		声 邓		自 治 事	務	- 11		実行予算	事業	R3 年度	事業終了		
事業実施方法	補助			事務				⋾ 兼 │		補 助 金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R6	年度
補助率	1/2, 10/10					法定受託事	務	- /,		その他	年度	1 年	度)		
福井県長期ビジョン	分野〔		ずる (創造力)]	関連する県の計画等		[ふくい観光と	 ::ジョン)		
における位置付け	政 策〔	10 北陸新幹線開	開業効果を最大限]										

「解決すべき問題・課題〕

北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県観光連盟が本県の観光地域づくりの中核となってさらなる観光振興と誘客促進を図る必要がある。

[事業目的]

福井県版DMOが地域の観光を担うプレーヤー支援やマーケティング調査等を行うことにより、地域の稼ぐ力を引き出すとともに、地域が一体となって観光に取り組む基盤づくりを図る。

[事業内容]

- (1) 観光地域づくりマネージャーの配置
- (2) インバウンドアドバイザーの配置
- (3)地域の観光を担うプレーヤー支援

補助内容:地域の食・食文化に紐づく地域ブランドの創出

地域の周遊滞在・宿泊スタイルの推進

地域資源を活かした土産品、体験コンテンツ造成等

- (4)外部専門家によるサポート
- (5) 他地域のモデルプレーヤーとのネットワーク構築
- (6) マーケティング調査

[受益者] 福井県の	親光関係事業者 (宿泊業、飲食サービス業)	[想定される受益者数]	事業所数: 5, 477 (H26経済センサス)
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況		他県の状況	

DMOによる観光地域づくり推進事業

区分	新規	経費	区分 政策	货的 経費	要才	え基準	内	ŧ	部局名	3	交流文化部	Ī	果名	篧	見光誘客談	Ę	課長名	獅子原	朋広
事業主	上 体	(公社)	畐井県観光連 盟	1				■自	治 事	務	-1111	□ 実行	宁予算	事業	R3	年度			
事業実施	方法	補助					事務区分				事 業区 分	■ 補	助金	開始	経過年	数	予定年度 (見直し年	R6	年度
補助	率	1/2, 1	0/10				- "	│ □ 法?	定受託	事 務	– //	ロそ	の他	年度	1	年			
区分	事	業費	国儿	車	走	己債	そ	の他		一般則				匤	庫、その	他財源	の名称等		
文 答 姑																			
予算額		90, 975	5	41, 987							48, 988	地方創	生推進交	付金					
[予算額の推	:移等]	,	1	ĺ			'		-1									(単位:	: 千円)
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度					令和34	F度予算	算額の増減	域理由			
<u> </u>	初予算	額の推	移					90, 97	'5										
2 月	現計予	算額の	推移						— 地域σ	り観光で	を担うプレ	ーヤー支	援補助金	の新設					
	決 算 額	の推移																	
前年度ま 主な増減 「成果指標等	找理由																		
[790][1][7]	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間	目標	最終目標			目標	指標の	考え方	• 積算根拠		
成果指標	観光消費名		(目標) 実績				- 12	(1, 342		<u> </u>	(1, 700)				74 177	3.475	IXVI IXIX		
	観光プレイ	イヤー支数	(目標) 実績					(10))			地域の)観光を担	!うプレ	/イヤー支	援補助	1金		
[事業の評価	<u> </u>	* -	5.0 中4				中华土叫	+:+ ^:		の本 王	. -					ᆂᄴᆓᆍ	Iπ		
		- 削牛皮	の実績				美額を踏	まえた令	113年度	の変す	見息 一			<u> </u>		事業評			
													拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
													継続		休止		完了		
													整理統	合□	廃止		その他		

バスツアー造成促進事業

区分 継続	経費区分 政策的経費 要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観	光誘客課	課長名	獅子原 朋広
事業主体	(公社)福井県観光連盟	± ₹/a	■ 自治事	務	口 実行予算	事業	H27 年度	事業終了	
事業実施方法	補助	事務		事業 区分	■ 補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R4 年度
補助率	10/10		□ 法定受託事	孫	口 その他	年度	7 年	度)	
福井県長期ビジョン	分 野 〔3 楽しみを広げる(創造力))	関連する	[ふくい観光は	* *			ו	
における位置付け	政 策 〔10 北陸新幹線開業効果を最大限			宗の計画寺	しふくい観光に	- / = /			J

「解決すべき問題・課題〕

コロナ禍において、バス旅行者が大幅に減少、旅行需要を回復させるための割引キャンペーンなどが必要である。

[事業目的]

北陸新幹線金沢開業や舞鶴若狭自動車道全線開通を契機として、本県を訪れるバスツアーを企画する旅行会社に対し支援することで、首都圏や中・四国地方からの 新たな観光誘客を図る。

[事業内容]

バスツアーを企画する旅行会社に対する助成

補助単価: 25,000円/台

※貸し切りバス料金の制度改正(H26 8月~)に伴う値上げ相当

補助台数: 80台(上限)

[受益者] 福井県の	親光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)	[想定される受益者数]	事業所数: 5, 477 (H26経済センサス)
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	・各市町のパンフレットやイベントチラシ等を配架 ・各市町が観光PRする際にイベントスペースを使用	他県の状況	

バスツアー造成促進事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	要求	基準	内	i	部局名		交流文化部	3	課名		観光	誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	体	(公社)福	井県観光連盟	1				■ 自	治	事務			実行予算	事業	È	H27	年度	事業終了		
事業実施	方法	補助					事 務区分				事業区分	•	補助金	開始	1 糸	圣過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助基	率	10/10					- "	□法	定受訊	任事 務			その他	年度		7	年	度)		
区分	事	業費	国原	Į.	起	債	そ0	D他		一般	財源				国庫、	、その作	也財源0	D名称等		
予算額		2, 000									2, 000									
[予算額の推	移等]																		(単位:	千円)
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度					令和3	年度予	予算額	の増減	理由			
当	初予算	額の推	移	2, 000	2, 000	2, 000	2, 000	2, 00	00											
2 月	現 計 予	算額の	推移	2, 000	2, 000	2, 000	2, 000													
	決 算 額	の推移		1, 450	1, 775	1, 875														
前年度ま 主な増減																				
[成果指標等	の推移]																			
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間	間目標	最終目標			目	標・	指標の表	きえ方・	· 積算根拠		
成果指標	送客人数		(目標)	(2, 880)	(2, 880)	(2, 880)	(2, 880)	(2, 88)	0)			36夕	3(定員45名	×乗車		』) × 台	数			
774711177			実績	2, 205	2, 378	2, 394							(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	210 1	1 - 1	., -				
活動指標	支援台数		(目標)	(80)	(80)	(80)	(80)	(8)	0)											
			実績	70	71	75														
[事業の評価]]	前左由	の中は				中 续≠ 财:	+ = + <u></u>	行った」	中の本	西 上		1			7	** = 17 / 1	.		
		前年度	の美領				実績を踏る	まえた市	削る年)	度の変	史品			Т			業評価			
としていた	エリアを関	関西・中京・	ŧえ、首都圏な ・近隣府県へも こにより、例≤	が拡大し、E	帰								□ 拡:			縮減 休止		終期の見直し	見直 (————	し額
なった。													□ 整理	統合		廃止		その他		

関西・中京圏からの誘客強化事業

区分 継糸	経費区分 政策的経費 要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観	光誘客課	課長名	獅子原 朋広
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟	± ₹⁄	■ 自治事	務	■ 実行予算	事業	R2 年度	事業終了	
事業実施方法	直営、補助	事務区分		事業 区分	■ 補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R4 年度
補助率	10/10	ָר בּין בּין בּין בּין בּין בּין בּין בּין] 法定受託事		口 その他	年度	2 年	度)	
福井県長期ビジョン	分 野 〔3 楽しみを広げる(創造力))	関連する	県の計画等	〔 ふくい観光は	***= *,			1
における位置付け	政 策 〔10 北陸新幹線開業効果を最大限)		宗の計画寺	しるべい形がして	- / = /			J

「解決すべき問題・課題〕

北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道本県開通にあわせ、関西・中京圏へのプロモーション強化が必要である。

[事業目的]

関西・中京圏において、恐竜等の強みを活かした情報発信を行うことにより、さらなる誘客を強化する。

- (1) 関西・中京圏におけるプロモーション
 - ・ツーリズムEXPOジャパンへの出展
 - ・JR名古屋駅周辺におけるDINO一A一LIVEを活用した観光PR
- (2) 現地メディア等への営業活動 【県観光連盟】
 - ・イベント、物産展の開催等に併せて現地メディアを営業訪問
 - ・県外イベント等へのブース出展によるPR
 - ・出向宣伝等に同行する観光宣伝隊の管理・運営

[受益者] 福井県の額	現光関係事業者 (宿泊業、飲食サービス業)	[想定される受益者数]	事業所数: 5, 477 (H26経済センサス)
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 ふくいの物産と観光展開催支援事業 (役割分担) 上記事業と共同した観光プロモーションを実施
市町との連携状況	・出向宣伝等への共同参加	他県の状況	

関西・中京圏からの誘客強化事業

区分	継続	経	費区分	政策	的経費	要求	基準	内		部局	 司名	交	流文化部	3	課名		観	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	体	県、(公社)福井県	具観光	連盟			-1	■ É	1 治	台 事	務			実行予	算事	業	R2	年度	事業終了		
事業実施	方法	直営、	補助					事 務区分					事業区分	•	補 助	金 開	始	経過年数	Ţ	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	10/10)					- "		定	受託事		_ //		その	他	度	2	年	度)		
区分	事	業費		国庫	i	起	債	その	D他		-	一般財	·源				国国	軍、その他	b財源の)名称等		
予算額		23, 5	18		11, 759								11, 759	地	:方創生排	推進交付	金					
[予算額の推	移等]																				(単位:	千円)
	区	分	\		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年	变					令	和3年原	逐予算	額の増減	理由			
当	初予算	額の排	推 移					20, 300	23,	518												
2 月	現計予	算額0	D 推 移					5, 969														
	決 算 額	の推利	 多																			
前年度ま主な増減	找理由																					
[成果指標等						00 	\		0.5			1= F	3 <i>//</i> 2 C J T					15.1± 0.+	· - <u>-</u>	1± // 10 1m		
	区	分			平成29年度	30年度	令和元年度		3年		中間目		最終目標							積算根拠		
成果指標	観光客入证(※暦年)			目標)	(12, 500) 13, 043	(12, 750) 16, 969		(17, 500)	(18, 0	(00	(19, 0	00)	(20, 000)	令和 令和]元年目村] 6 年目村	漂値 13 漂値 20	3, 000 -), 000 -	千人(観) 千人(観)	ピ新戦闘 ピビジョ	各 H26~F ョン R2~R		
活動指標	ツーリズ <i>4</i> ディノアラ		D出展 (目標)	,		,	(2)		(2)		(3)	(3)									
[事業の評価]																					
		前年	度の実績					実績を踏る	まえた~	6和(3年度€)変更	点					事	業評価	<u> </u>		
新型コロナ 出向宣伝等)影響によ	ちり、関西	・中京	圏の駅周辺	l <i>o</i>		《ムEXP(R周辺におり					ライブ)		□ ■ □ <u>*</u>	拡充 継続 整理統合		旅減 休止 廃止		終期の見直し 完了 その他	見直	し額

高速道路網を活用した観光誘客事業

区分拡	充 経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	交流文化部	邯	課名	観	光誘客課	課長名	獅子原 朋広
事業主体	県、実行委員会	숝		± ₹/a		自 治 事	務		実行予算	事業	H25 年度	事業終了	
事業実施方法	直営、負担金			事務			争 耒 区 分		補 助 金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R4 年度
補助率	定額					法定受託事	務		その他	年度	9 年	度)	
福井県長期ビジョン	分 野〔	3 楽しみを広り	ずる (創造力)		関連する県の計画等			٦	ふくい観光し				ì
における位置付け	政策〔	10 北陸新幹線	新幹線開業効果を最大限	宋の計画寺	,	◇ ハ へ い 性元 ノし し	- / = /			J			

[解決すべき問題・課題]

コロナ禍において、高速道路を利用したマイカーによる旅行者が大幅に減少、旅行需要を回復させるための割引キャンペーンなどが必要である。

[事業目的]

石川県やNEXCOと連携し、ドライブプラン造成などを実施し、関西・中京圏等からの誘客を強化する。

- (1) 「海湖と歴史の若狭路」キャンペーンの実施 【実行委員会負担金】 。 嶺南市町等と一体となって、若狭路の観光地やイベントをPRするキャンペーンを実施
- (2) 新石川県との連携による関西・中京発のドライブプラン造成
- (3) NEXCOと連携した誘客キャンペーン等の実施
 - ・お国じまんカードラリー
 - NEXCO西日本と包括協定を締結する府県の「ご自慢」の観光地を周遊するキャンペーン
 - ・SAでの観光情報発信 若狭路(福井県)へ向かう高速道路SAでの観光パンフレット配架

[受益者] 福井県の	観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)	[想定される受益者数]	事業所数: 5,477 (H26経済センサス)
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	・実行委員会参加により共同でイベント、出向宣伝等を実施 ・お国じまんカードラリーのスポット選定、運営	他県の状況	

高速道路網を活用した観光誘客事業

区分	拡充		経費[区分 政策	的経費	要求	基準	内	i	部局名		交流文化部	3	課	:名		観光	:誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	E体	県.	、実行	委員会					■ 自	治事	務			実行	予算	事業		H25	年度	事業終了		
事業実施	方法	直	営、負	担金				事 務区分				事 業 区 分		補貝	助 金	開始	- 糸	怪過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	定	額					L //	□法	定受託	事 務			その	の他	年度		9	年	度)		
区分	事	業費		国国	Ī	起	債	その	の他		一般	財源					国庫、	、その他	財源σ	2名称等		
予算額			9, 000		4, 500							4, 500	地	也方創名	生推進3	を付金						
[予算額の推	:移等]																				(単位:	千円)
	区		分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度						令和3	年度予	算額	の増減球	里由			
当	初予算	額の	の推り	移	5, 535	5, 535	5, 465	5, 464	9, 00	00												
2 月	現 計 予	算	頂の:	推移	5, 535	5, 535	5, 465	5, 464		R 3	石川	県と連携し	たド	デライ :	ブプラン	/造成						
	決算額	i の st	隹 移		5, 414	5, 413	5, 420															
前年度ま 主な増減	找理由																					
[成果指標等																						
	区		分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度		目標	最終目標				目	標・៎	指標の考	え方・	積算根拠		
成果指標	観光客入:		(千人)	(目標) 実績	(12, 500) 13, 043	(12, 750) 16, 969	(13, 000) 18, 100	(17, 500)	(18, 000)) (19,	, 000)	(20, 000)	13.16					人 (観光 人 (観光				
				(目標)	(17)	(17)	(17)	(17)	(1)	7)	(17)	(17)										
活動指標	出向宣伝:	実施箇	所数	実績	26	26		(17)	(1)			(17)	嶺北	比地域、	、京都府	守・滋	賀県	、関西・	中京に	まか		
[事業の評価	<u> </u> 			2412			20															
	-	育	前年度(の実績				実績を踏ま	まえた令	和3年度	の変更	更点						事	業評価	5		
・「海湖と歴史の若狭路」キャンペーン(7~11月) ・NEXCOと連携した誘客キャンペーン等							・石川県と	この連携に。	よるドラ	イブプラ	シンの道	 告成			拡充継続整理総	ŧ		縮減 休止 廃止		終期の見直し 完了 その他	見直	し額

観光商談会開催事業

区分継続	経費区分 政策的経費 要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原	朋広
事業主体	(公社)福井県観光連盟	★ 34	自 治 事	務	□ 実行予算	事業 H24 年度	事業終了		
事業実施方法	補助	事務		事業 区分	■ 補助金	開始 経過年数	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率	10/10		法定受託事	事務	□ その他	年度 10 年	度)		
福井県長期ビジョン	分 野 〔3 楽しみを広げる(創造力)]	関連する	県の計画等	〔 ふくい観光ヒ	***		ז	
における位置付け	政 策 〔10 北陸新幹線開業効果を最大限)	おほりる	ボジョ回寺	ころくい能力し	. / = /		J	

[解決すべき問題・課題]

北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道開通を契機に、地域やターゲットに応じた誘客戦略を推進し、さらなる観光客の誘致拡大を図る必要がある。

[事業目的]

首都圏、関西・中京圏において、県内の観光産業関連事業者と現地の旅行会社のキーマンと商談する機会を提供する。

[事業内容]

本県観光に関する説明(プレゼンテーション)および観光産業関連事業者による個別具体的な商談を実施開催場所: 東京、名古屋、大阪

[受益者] 福井県の	観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)	[想定される受益者数]	事業所数: 5, 477 (H26経済センサス)
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	・各市町も商談会に参加	他県の状況	

観光商談会開催事業

区分	継続	続 経費区分 政策的経費 要求基準		基準 内		辛	部局名	名 交流文化部		E E	果名	観光誘客課			課長名	獅子原	朋広					
事業主	E体	(公社)福	富井県観光連盟	1				■自	治 事		- Alle	□ 実行	5予算 │	事業	H24	年度						
事業実施	事業実施方法 補助						事務区分				事業 区分	■ 補	助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度			
補助	率	10/10						口 法5	定受託事		_ ,,	□ そ	の他	年度	10	年	度)					
区分	事業	業費	国月	車	起	!債	そ(の他		一般財源	亰	国庫、その他財源の名称等										
予算額																						
分异位		3, 201									3, 201											
[予算額の推	· 移等]		•						•		•							(単位:	: 千円)			
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度					令和3年	度予算	「額の増減	理由						
当	前 初 予 算	額の推	移	4, 057	4, 057	3, 150	3, 201	3, 20	1													
2 月	月現 計 予	算額の	推移	4, 057	4, 057	3, 150	2, 221															
	決 算 額	の推移		4, 057	4, 057	3, 150																
前年度ま 主な増減 	越理由																					
[灰木]日标书	区 区			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目	標一長	終目標			日標	・指標の者	え方・	·積算根拠					
	 観光客入辺		(目標)		(12, 750)			(18, 000				令和元年	: 日播店 1		千人(観光			D 1)				
成果指標	(※暦年)		実績	13, 043			, , ,				, .	令和6年	目標値 2		千人(観り							
	 県内観光事	**************************************	司休 (目標)	(150)	(150)	(150)	(150)	(150) (1	50)	(150)											
活動指標	数	不日多加	実績	154	127	124																
[事業の評価	i]																					
前年度の実績						実績を踏まえた令和3年度の変更点									事	業評価	5					
・大阪観光商 ・名古屋観光	:商談会:オ	·ンライン閉		4 I									拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額			
県内事業者数 26団体 44人 旅行会社 14社 31人 ・東京観光商談会 : オンライン開催											-	継続		休止		完了						
本 示既儿問	県	:内事業者数	_{開催} 数 31団体 4 7社 32人	5人									整理統領	=	廃止		その他					

ふくいの物産と観光展開催支援事業

区分	続 経費	区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	交流文化部		課名	観	光誘客課	課長名	獅子原	朋広
事業主体	(一社)	福井県物]産協会		市 7 /4		自 治 事	務事業	, C	実行予算	事業	\$59 年度	事業終了		
事業実施方法	補助			事務			事第三人		補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R4	年度	
補助率	2/3						法定受託事	務		その他	年度	38 年	度)		
福井県長期ビジョ	, 分 彗	野 [3	楽しみを広げ	ずる (創造力))	関連する県の計画等			ふくい観光し			ו		
における位置付け	政第	政 策 〔10 北陸新幹線開業効果を最大限)			l	、 かくい能力し	- / = /			J		

[解決すべき問題・課題]

県産品の販売促進と本県への誘客促進を図るため、大都市圏等での物産展とあわせた誘客プロモーションを実施する必要がある。

[事業目的]

大都市圏等で福井の食や観光地等の魅力を消費者に対して直接販売・PRすることにより、県産品の販売促進と観光誘客の拡大を図る。

[事業内容]

福井県「越前・若狭」の物産と観光展の開催

補助対象:5社以上の出展、かつ事業費100千円以上の物産展で首都圏、中京圏、関西圏等において10件

補助要件 : 県全体の観光 P R を実施すること

補助限度額:福井県単独開催の物産展 5,000千円/件

他県との合同開催の物産展 1,000千円/件

[受益者] 福井県の特	勿産関係事業者等	[想定される受益者数]	300社
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 関西・中京圏における誘客プロモーション事業 (役割分担) 物産展の開催とあわせて、ディノアライブ等実施
市町との連携状況	・各市町の観光PRポスター、パンフレットの掲出 ・観光PRコーナーに市町も参加	他県の状況	

ふくいの物産と観光展開催支援事業

区分	継続		経費回	区分 政策的経費 要求基		基準 内		部局名		交流文化部		課名			観光誘客課			課長名	獅子原	朋広				
事業主	E体	(一社) 福井県物産協会								自 治	事	務			実行	予算	事業		S59	年度	事業終了			
事業実施	拖方法 補助							事務					事業区分		補具	功 金┃	開始	ì	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度	
補助	率	2/	/3					L //		法定	受託事				その	の他	年度		38	年	度)			
区分	事	業費		国	車	起	債	その	の他		_	-般財	源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	15, 000												15, 000											
[予算額の推	:移等]																					(単位:	千円)	
	区		分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年	度						令和3	年度	5算額	額の増減理	里由				
当	初予算	額の	推和	侈	27, 472	27, 472	15, 000	15, 000	15	, 000														
2 月	現計予	算 額	の	推移	27, 472	7, 694	15, 000	15, 000																
	決 算 額	の推	養		27, 472	7, 694	14, 350																	
前年度ま 主な増減 [成果指標等	越理由																							
[火木]日1示寸	区		分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年	审	中間目		最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠										
	Ι	1 4		(目標)		(12, 750)	(13, 000)	(17, 500)	(18,		(19, 00		(22 222)	∧ 1.	. — <i>f</i>							21)		
成果指標	観光客入道 (※暦年)	△剱(・	十人)	実績	13, 043	16, 969			(10,	000)	(10, 00	,0,	(20, 000)						- -人(観光 -人(観光					
				(目標)	-	(150)	(150)	(150)	(200)	(30	00)	(300)											
活動指標	出店者数			実績	132	38		(122)	,		•		, ,	1	福井県	物産用	₹ (50∤	±×!	5件)+合	同物產	E展(10社×5	件)		
[事業の評価	i]																							
前年度の実績							実績を踏	まえた	令和3	3年度の	変更	点						事	業評価	i				
R2.9 東道 R2.10 東道 R3.2 東道 R3.2 名針	式百貨店池: 式百貨店吉	袋店で 祥寺店	開催 で開作	雀											□□□	拡充 継続 整理網	売		縮減 休止 廃止		終期の見直し 完了 その他	見直	し額 	

周遊•滞在型観光推進事業

区分継続	経費区分 政策的経費	要求基準 内	部局名	交流文化部	課名	観光	光誘客課	課長名	獅子原 朋広
事業主体	市町、観光団体等	* 74	■ 自治事	務] 実行予算	事業	H28 年度	事業終了	
事業実施方法	直営、補助	事 務		│	■ 補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R4 年度
補助率	ハード事業支援 3/10、ソフト事業支援		□ 法定受託事		こその他	年度	6 年	度)	
福井県長期ビジョン	分 野 〔3 楽しみを広げる(倉	削造力)	関連する	県の計画等	〔 ふくい観光と	***- * ,			٦
における位置付け	政 策 〔10 北陸新幹線開業効身	果を最大限	〕 関連する	宗の計画寺	しるくい観光し	- ション			J

「解決すべき問題・課題]

北陸新幹線敦賀開業や中部縦貫自動車道全線開通に向け、複数の市町が連携した周遊・滞在型観光を推進し、さらなる誘客拡大や地域の活性化を図る必要がある。

[事業目的]

複数の市町が連携した周遊・滞在型観光を推進することにより、北陸新幹線敦賀開業や中部縦貫自動車道全線開通に向け、さらなる誘客拡大や地域の活性化を図る。

[事業内容]

市町等が実施する以下の事業に対する支援

- 〇ハード事業
 - ①エリアのゲートウェイ機能(広域観光案内、物産販売等の機能)を持ち、エリア内周遊の拠点となるもの
 - ②エリア内の宿泊拠点となり、宿泊者数増加につながるもの
 - ③主要観光地において観光客の滞在時間の増加を促すもの に対して支援する。
- 〇ソフト事業
- エリアの魅力創出、周遊・滞在型観光の推進に資する新規・拡充事業(次年度以降も継続実施するもの)に対して支援する。

[受益者] 福井県の	観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)	[想定される受益者数]	事業所数: 5, 477 (H26経済センサス)
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 観光まちなみ魅力アップ事業 (実績) 平成24年度~29年度 ハード、ソフト事業に対して支援	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	複数の市町が連携した周遊・滞在型観光を推進	他県の状況	

周遊•滞在型観光推進事業

区分	継続	経費[区分 政策	的経費	要求	基準	内	台	『局名	3	交流文化部		課名		観光	比誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	上体	市町、観	.光団体等					■ 自	治 事	務			実行予算	事業	Ė	H28	年度	事業終了		
事業実施	方法	直営、補	·助				事 務 区 分				事業 区分		補助金	開始	1	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	ハード事	業支援 3/10)、ソフト事	業支援 1.	/2	- "	口 法兄	已受託:	事 務	- "		その他	年度	Ź	6	年	度)		
区分	事	業費	国原	Į.	起	債	その	の他		一般	財源				国庫	、その他	財源の	D名称等		
予算額		227, 156									227, 156									
[予算額の推	移等]																		(単位:	千円)
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度					令和3	年度	予算額	領の増減	理由			
当	i 初 予 算	額の推	 移	43, 631	158, 472	565, 925	522, 948	227, 15	6											
2 月	現計予	算額の	推移	28, 061	60, 387	474, 762	507, 006		R3	5年	計画の4年	目に	あたり、市	町から	の申	請見込み	が大軸	畐に減少		
	決 算 額	の推移		27, 057	39, 477	375, 971														
前年度ま主な増減	找理由																			
[成果指標等				T + 00 + +	00 to the	^	0 to the	0.55		_ _ _	日幼口坪				1##	#:## o =		ᆥᆉ		
	区	分	/ D 4=/	平成29年度	30年度	令和元年度		3年度	中間		最終目標							• 積算根拠		
成果指標	観光客入:	込数(千人))		(12, 500)	(12, 750)		(17, 500)	(18, 000	(19,	000)	(20, 000)	令和 今和]元年目標値]6年目標値	13, (20, (000∓ 000∓	· 人(観光 ·人(観光	£新戦闘 チ ビジ∶	格 H26~I ョン R2~R		
	(71.76)		実績	13, 043	16, 969		(15)	(15	\	(15)	(1E)					, (P)()				
活動指標	ソフト事	業支援採択数	(目標) 牧 実績	(12)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)									
 [事業の評価	<u> </u> :1		夫 棋	13	15	15														
「予木の川川	1	前年度	の実績				実績を踏っ	まえた令和	□3年度	の変す	 更点					事	業評価	<u> </u>		
ハード事業 ソフト事業						• 丸岡温	表市場リフ 温泉たけく	らべ改修	(坂井市)			□ 拡			縮減休止		終期の見直し 完了	見直し	レ額 295, 792
						・右狭り	・トヘンナ・	ャーツー!	ノムム拠	点 登 值	韛(若桜町))	□ 整理	統合		廃止		その他		100, 102

民宿リニューアル支援事業

区分	継続	経費	区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	交	流文化部	3	課名	観	光誘客課	課長名	獅子原	朋広
事業主体		市町				市 邓		自 治 事	務	± ₩		実行予算	事業	R2 年度	事業終了		
事業実施方法	₹	補助				事務区分				争 耒区 分		補 助 金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	1	R4 年度
補助率		1/3						法定受託事	務			その他	年度	2 年	度)		
福井県長期ビジ		分!	野〔:	楽しみを広!	ずる (創造力))	関連する	旧の計	- 画生	r	ふくい観光し				1	
における位置付	けけ	政 5	〔1	0 北陸新幹線	開業効果を最大限]	お足りる	ホリロ	四寸	_ \	◇ハ \ レ ゙誰だんし ┗	- / - /			ر	

[解決すべき問題・課題]

北陸新幹線の利用者や今後増加が見込まれる外国人観光客等の新たな宿泊需要に対応する必要がある。

[事業目的]

北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道の全線開通に備え、観光客の宿泊需要に対応するため、民宿の魅力向上や受入環境の整備を支援する。。

[事業内容]

市町等が行う民宿事業者への店舗改修費の補助を支援し、宿泊の受入環境を整備 〇民宿における客室の内装改修、浴室の整備改修、トイレの様式化、外観修繕 等 県1/3、市町1/3、事業者1/3 補助上限額 5,000千円(事業費ベース15,000千円)

[受益者] 福井県の智	親光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)	[想定される受益者数]	事業所数: 5, 477 (H26経済センサス)
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	市町等が行う民宿事業者への店舗改修費の補助を支援	他県の状況	

民宿リニューアル支援事業

区分	継続	経費	隆区分 政策	货的 経費	要求	基準	内	部	局名	交流文化部	3 1	課名	馥	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	E体	市町						■ 自	治事		□ 実	行予算	事業	R2	年度			
事業実施	拉方法	補助					事務区分			事業区分	■補	助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	1/3					L //	□ 法定	受託事		□ そ	の他	年度	2	年	度)		
区分	事	業費	国	車	起	2債	そ0	D他	_	般財源			国	庫、その他	財源の	の名称等		
7 M 4T																		
予算額		50, 00	0							50, 000								
[予算額の推	 :移等]	00,00	<u> </u>							00,000	1						(単位:	千 円)
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度				令和3年	E度予算	類の増減	理由		(412.	1137
*	———— 百初 予 算	額の推	 移				50, 000	50, 000										
	 現 計 予						44, 430		_									
	決算額						,		_									
	<i>/</i> / <i>F</i> is	42 JE 19																
前年度ま 主な増減	越理由																	
[成果指標等		0			225-	1			1.88.61							7+ 64 ID Iba		
	区	分	(= !=\	平成29年度	30年度	令和元年度		3年度	中間目村				日標	・指標の考	え万・	• 積算根拠		
成果指標	延べ宿泊者	首数(万人	(目標)) 実績				(415)	(420)		(510)	観光庁宿	省泊統計 調	査					
江毛+七+西	干拉拉扣本	h	(目標)				(10)	(10)										
活動指標	支援採択数	X	実績															
[事業の評価	i]									'								
		前年度	きの実績 一				実績を踏る	まえた令和	3年度の	変更点				事	業評価	<u> </u>		
												拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
外観の修繕	や浴室改修	など24	件の民宿リニ	ューアルをう	支援						•	継続		休止		完了		
												整理統	合口	廃止		その他		

東尋坊活性化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外		部局名		交流文化部	3	課名	額	光誘客課	課長名	獅子原	朋広
事業主	E体	市町ほか			74		自 治	事	大 北		実行予算	事業	R2 年度	事業終了		
事業実施	方法	補助			事務区分				事業区分		補 助 金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R1	0 年度
補助	率	1/2等					法定受言	£ 事 剂			その他	年度	2 年	度)		
福井県長期	ビジョン	分 野	〔3 楽しみを広り	げる (創造力))	即油。	- ス 旧	の計画等	r	ふくい観光し				٦	
における位	位置付け	政 策〔	10 北陸新幹線開	昇業効果を最大限)		る示	の計画寺	\	ふくい能元に	- ション			J	
		-	スケールアップを	を図る必要がある。												
[事業目的]																
県外での プを図る。	認知度も	高く、本県で	最も観光客が訪れ	いる東尋坊において	て、新しし	ハ魅ス	カづくり [.]	や東尋	尋坊全体の	活性	化を支援	し、本県	と代表する観	光地として	スケール	アッ

[事業内容]

駐車場の集約・一元化、ビジターセンターの整備、商店街のリニューアル等

[受益者] 福井県の智	現光関係事業者 (宿泊業、飲食サービス業)	[想定される受益者数]	事業所数: 5, 477 (H26経済センサス)
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	東尋坊全体の活性化策について、坂井市・地元関係者等と検討	他県の状況	

東尋坊活性化支援事業

区分	継続	経費	費区分 政策	的経費	要求	基準	外		部)	局名	交流	流文化部	3	課名	<u> </u>	観	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	体	市町ほ	か						自	台 事	務			実行予	5算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施	方法	補助					事 務区分					事 業 区 分	•	補 助	金	開始	経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R10	年度
補助	率	1/2等							法 定	受託事				その	他	年度	2	年	度)		
区分	事	業費	国	車	起	債	その	の他		-	一般財源	源				国	車、その作	边財源σ)名称等		
予算額																					
		105, 50)4									105, 504									
[予算額の推	移等] ————																			(単位:	千円)
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3 年	度					令	3和3年	度予算	額の増減	理由			
当	初予算	額の推	移				21, 900	105	5, 504												
2 月	現 計 予	算額の	推移				21, 900														
	決算額	の推移	;																		
前年度ま 主な増減	找理由																				
[成果指標等											-										
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度		3年		中間目	_	と終目標							積算根拠		
成果指標		込数(千人		(12, 500)	(12, 750)			(18,	000)	(19, 0	00) ((20, 000)	令和	元年目	標値	13, 000	千人(観)	と新戦 町	各 H26~1		
	(※暦年)	1	実績	13, 043	16, 969	18, 100							ጉ ሌ	10 # 日	保胆	20, 000	千人(観光	てロン:	ョン R2~R	0)	
活動指標			(目標)										事業	(内容が	拠点整	備等へ	の支援でる	あるため	か活動指標の語	没定なし	
	7		実績																		
[事業の評価	<u> </u>	前任日	度の実績				実績を踏っ	= 7 <i>t-</i>	·今和	3 年 度 🛭)亦面占	5					重	事業評価	T		
		נים — נים	文の大順				大限と山	5/1/2	. וייף	0 十	/ <u>XX</u> //	m.			+ + +			Т		日士	・ 東西
							易の集約・-								拡充		縮減		終期の見直し	見直	し谼
県道拡幅や	駐車場の一	-元化等に	係る測量・基本	卜 設計		・ビジタ	な幅・市道(マーセンタ-	-・交	通ステー	-ション (麦	F) 基本設計	十等)		•	継続		休止		完了		
						・商店往	新リニュー 7	アル(基本語	設計等) 					整理統	合口	廃止		その他		

六呂師高原活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化	部	課名	額	光誘客課	課長名	獅子原 朋広
		県	77777	2721			事務		実行予算	事業	R2 年度	事業終了	
事業実施		 直営			事務		事業区分		補助金	争未 開始	経過年数	予定年度	R4 年度
補助率	<u>×</u>				区分	口 法定受託			その他	年度	2 年	(見直し年 度)	
ニューロック ロップ	ごジョン	分 野	[3 楽しみを広り	ずる (創造力))	明生士	7月6司王佐	_	> / ı > / u > / ı ·	* · · ·	•	10-47	
における位		政 策	〔10 北陸新幹線[開業効果を最大限)	関連9	る県の計画等	'	ふくい観光と	ニンヨン			J
解決すべき問	問題・課題]											
ᆂᅘᄱ	5 51 = 1 + 2	ゔ메ゞゖゟゖ	~ 土口红宝压。	- 11 - 20 1 2 1 -	· →≁∪	よう かっ壬戌	7/0 1/4 / 1 1 1 1 2 1	N 프로 Li	≬				
中部縦員目	∃虭卑迫0	の開通に向け	て、六呂帥高原二	エリアのレベルア	ツフを図り	さらなる誘名	『促進を図る』	少安か	` ある。				
事業目的]													
尹木口 [1]													
六呂師高原	原の新たな	な誘客の柱の	検討や六呂師高原	原内の各施設レベ	ルアップ等	を図り、中部	『縦貫自動車』	道の開	通効果の	最大化と	地域の活性化	を目指す。	
事業内容]													
ㅗㅁ쑈늗	工 前+4-	- u = o T H	//.### 6 										
六呂師高原	亰・奥越ニ	┖リアの活性	化構相の第定										
		, , in in-											
		,, ,,,,,,,,	山南心の永足										
		,, ,,,,,,,	10 特心の米定										
		77 3711	10 将心 07 米之										
		,,,	1014心以及足										
		77	1014心以及足										
		, , <u>.</u>	1014心》										
		77	1014心以及										
		77	101舟心》,宋定										
		77	旧神心の人										
		, , . , <u></u>	日中心・										
			(宿泊業、飲食サー	ビス業)		[想定さ	れる受益者数]	事	美所数:5, 47	7 (H26経	済センサス)		
[受益者] 右	福井県の観	光関係事業者		ビス業)		[想定さ	れる受益者数]	_		77(H26経	済センサス)		
[受益者] 1	福井県の観	光関係事業者 ■ 無	(宿泊業、飲食サー	ビス業)		[想定さ	れる受益者数]		無		済センサス)		
[受益者] 右	福井県の観	光関係事業者 ■ 無 □ 有		ビス業)					無有事	7 (H26経 事業名	済センサス)		
	福井県の観	光関係事業者 ■ 無	(宿泊業、飲食サー	ビス業)		関連爭	事業の有無・		無		済センサス)		
	福井県の観	光関係事業者 ■ 無 □ 有	(宿泊業、飲食サー	ビス業)		関連爭			無有事		済センサス)		
	福井県の観	光関係事業者 ■ 無 □ 有	(宿泊業、飲食サー	ビス業)		関連爭	事業の有無・		無有事		済センサス)		
	福井県の観	光関係事業者 ■ 無 □ 有	(宿泊業、飲食サー	ビス業)		関連爭	事業の有無・		無有事		済センサス)		
[受益者] 右	福井県の観	光関係事業者 ■ 無 □ 有	(宿泊業、飲食サー	ビス業)		関連爭	事業の有無・		無有事		済センサス)		
	福井県の観	光関係事業者 ■ 無 □ 有	(宿泊業、飲食サー	ビス業)		関連爭	事業の有無・		無有事		済センサス)		

六呂師高原活性化事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	要求	え 基準	内	剖	3局名	交流文化部	ß	課名	頟	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	体	県		-			-11-	■自	治 事		□ 実行	行予算	事業	R2	年度			
事業実施	方法	直営					事務区分			事業区分	■ 補	助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率							口 法定	受託事		ロそ	の他	年度	2	年	度)		
区分	事	業費	国原	Į.	赶	2債	そ (の他	•	一般財源			国	- 庫、その他	□財源 <i>0</i>	D名称等		
予算額		18, 139					(諸)	6, 046	3	12, 093	大野市	5負担金						
 [予算額の推	<u> </u> :移等]	10, 109					\ nH /	0, 040	<u>, </u>	12, 030	/ //=/11	7只正亚					(畄位:	: 千円)
	区			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度				令和3年	 E度予算	「額の増減 3	理由		(平位.	111/
	初予算		 移			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	4, 734	18, 139)									
	現計予						13, 130		4	六呂師高原・剪	a≠d⊤⊔¬	アの活州ル	増相の	生 宁				
2 /3			11生 17夕			1	13, 130		- K 3	八百叫同尔"罗	と 陸エップ	の治性に	伸心の	來足				
	决	の推移																
前年度ま主な増減	找理由																	
[成果指標等				T-100 (T-15)	20 fr dis	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	0.左击	0.左曲	T # 88 C	1 抽 目			口柵	比無のお	4 = +	毛笠 扣枷		
	区	分	/ D 4=/	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目	標│最終目標				・指標の考				
成果指標			(目標) 実績									『高原・奥 『成果指標		アの活性化 予定	占構想 第	策定に		
活動指標	六呂師高原 の活性化権		Jア ^(目標) 実績															
 [事業の評価	<u> </u> }		入假								1							
F 1. NC on H I limit	,	前年度	の実績				実績を踏	まえた令和]3年度0	の変更点				事	業評価	<u> </u>		
												拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
民間参入に による検討		ディング訓	■査および大 里	予市、地元 関	関係者	六呂師副	高原・奥越	エリアの活	性化構想	想策定	-	継続		休止		完了		
												整理統	合口	廃止		その他		

新幹線開業に向けたインバウンド対策事業

区分継続	経費区分 政策的経費 要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原	朋広
事業主体	県、市町、観光協会、民間事業者等	■	自 治 事	務	■ 実行予算	事業 R1 年度	事業終了		
事業実施方法	直営、補助	事務区分		り りょう ままり とう	■ 補助金	開始 経過年数	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率	3/4、1/2以内	1	法定受託事		□ その他	年度 3 年	度)		
福井県長期ビジョン	分 野 〔3 楽しみを広げる(創造力))	関連する	県の計画等	〔 ふくい観光	ビジョン		1	
における位置付け	政 策 〔10 北陸新幹線開業効果を最大化)		糸の計画寺	しるべい能力			J	

[解決すべき問題・課題]

多言語に対応した標識、フリーWiーFiエリア、キャッシュレス環境等、外国人がストレスフリーに旅行が出来る環境構築が課題。

[事業目的]

北陸新幹線敦賀延伸に向けて、外国人観光客が快適に旅行できる受入環境を整え、消費拡大を促していくため、市町との共同により重点整備エリアを選定し、域内のキャッシュレス決済・免税対応等を面的に整備する。

[事業内容]

- (1) 県内観光事業者のインバウンド対応意識醸成、安心して受入が出来る体制づくり
 - ・県内観光事業者向けインバウンドビジネスセミナーの開催
- (2) 重点整備エリア内における外国人観光客の受入環境整備に対する経費支援

[受益者] 観光事業	省(宿泊業、飲食、サービス業)	[想定される受益者数]	5, 288事業所(H28経済センサス)
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況		他県の状況	

新幹線開業に向けたインバウンド対策事業

区分	継続	経費[区分 政策	受的経費	要求	基準	内		部局名	í	交流文化部	3	課名		観光	誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	主体	県、市町	、観光協会、	民間事業者	等				自 治	事 務			実行予算	事業		R1	年度			
事業実施	 色方法	直営、補	助				事務区分				事業区分		補助金	開始	糸	₹過年数	Į		R4	年度
補助	率	3/4,	1/2以内						法定受	託事務			その他	年度		3	年	度)		
区分	事美		国原	Į.	起	!債	そ(の他		一般	財源				国庫、	その他	財源♂	D名称等		
予算額		62, 640									62, 640									
[予算額の推	移等]																		(単位:	千円)
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年	F 度				令和3	年度予	5算額	の増減	理由			
놸	首初予算	額の推利	多			823	98, 432	62	2, 640											
2 月		算額の技	 隹 移			823	8, 880		多	言語コー	·ルセンター	·設置	置費用の見送り	·J						
	決 算 額	の推移				0														
	事業実施方法 値営、補助																			
[/%,X]				平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3 组	E度 中	問日煙	最終日煙			日	棰▪‡	上煙のま	きえ方・	 ·		
成果指標		<u> </u>							1 2 1			※ 3 現状	比陸新幹線延代 85店 ·	伸時の	消費和	· 说免税店	数	IX ST IX IX		
活動指標		見催数							(3)			R元:	年度新型コロ	ナウィ	イルス	の影響	により	開催中止		
[事業の評価	i]	V	/						A ==								- viv == 1-			
		前年度(の実績				実績を踏	まえた	- 令和3年	= 関の変	史点					手	業評価	<u> </u>		
免税カウ	ンターの設	置支援 1									テいながら		■総							

国際観光推進事業

区分継続	経費区分 政策的経費 要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原 朋広
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟	= 24	自 治 事	務	■ 実行予算	事業 H16 年月	事業終了	
事業実施方法	直営、補助	事務		事業 区分	■ 補助金	開始 経過年数	予定年度 (見直し年	R4 年度
補助率	10/10		法定受託事		□ その他	年度 17 年	度)	
福井県長期ビジョン	分 野 〔3 楽しみを広げる(創造力))	関連する	県の計画等	〔 ふくい観光	ビジョン		
における位置付け	政 策 〔10 北陸新幹線開業効果を最大化)		宗の計画寺	しるくい観光	レ クョン		,

[解決すべき問題・課題]

訪日外国人は様々な国々から来訪し、旅行形態や目的などが様々なため、適切なプロモーションを実施する必要がある。

[事業目的]

海外旅行会社・メディア等への営業や貸切バスツアーへの助成等を実施し、本県への海外からの誘客拡大を図る。

[事業内容]

- (1) 海外旅行会社、教育関係者、メディア等の招へい
- (2) 海外旅行会社・メディアへの営業、現地プロモーション
- (3) 本県へのバスツアーに対する助成

補助額 25千円/台泊

対象地域 台湾、中国、韓国、シンガポール、タイ、マレーシア等

補助要件 ア 貸切バス利用

イ 県内宿泊1泊以上

ウ 県内観光地を2か所以上訪問

[受益者] 観光事業者	首(宿泊業、飲食、サービス業)	[想定される受益者数]	5, 288事業所(H28経済センサス)
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況		他県の状況	

国際観光推進事業

区分	継続	経費[区分 政策	₹的経費 ┃	要求	基準	内	部	局名	交流文化部	5	課名	馥	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	E体	県、(公	社)福井県観	光連盟				■ 自	治 事 和		■ 第	€行予算 📗	事業	H16	年度			
事業実施	地方法	直営、補	助				事 務区分			事業区分	■補	輔助 金┃	開始	┃ ┃経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	 率	10/1	1 0					□ 法定	受託事		□ ₹	その他	年度	17	年	度)		
区分	事	業費	国原	Į.	起	遺債	その	の他	_	 般財源			国	庫、その他	也財源の	か名称等		
予算額		22, 687								22, 687								
[予算額の推	:移等]								1								(単位:	千円)
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3 年度				令和3	年度予算	算額の増減	理由		``	
<u> </u>	首初 予 算	額の推利	B	28, 686	31, 794	30, 167	25, 283	22, 687	,									
2 月	現 計 予	算額の指	 准 移	27, 686	31, 794	28, 667	12, 108											
		の推移		21, 604	28, 599	24, 603												
前年度ま 主な増減	越理由																	
[成果指標等											1							
	区	分		平成29年度		令和元年度	2年度	3年度	中間目標							• 積算根拠		
成果指標	外国人宿泊 (※暦年)	白者数 (人)	(目標) 実績	(70, 000) 61, 160		(100, 000) 97, 730				(400, 000)	令和 6 ※コロ	年 40万ナ影響によ	5人(ふ にり指標	くい観光 b の設定見追	ごジョン <u>き</u> り(F	ン) R2、R3)		
活動指標	誘客活動多	毞績(件)	(目標) 実績	545	509	519					海外旅	行博等への)参加、	視察旅行受	そ入・国	国内商談会出席	ま等の件数	<u></u>
[事業の評価	i]																	
		前年度の	の実績				実績を踏	まえた令和	3年度の変	医更点					業評価	<u> </u>		
 新型コロナ	ウイルスの)影響により	多くの旅行博	草や視察受入	.旅行	<u> </u>	30. - 3	`. -	.r. L. 1 + .+	1次に亦画		□ 拡充				終期の見直し	見直	し額
の実施を見						アンダル 	, プロモー?	ソョンを中	心としたア	谷に変更		■ 維約 				その他		
,						•									_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

東京や関西等の観光団体と連携した外国人観光客誘客促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部	局名		交流文化部	3	課名	額	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主体 事業実施方法 補助率		直営			事務区分			治事		事業区分		実行予算 補 助 金 そ の 他	事業 開始 年度	R2 経過年数 2	年度年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5	年度
福井県長期ビジ における位置の	1 7 1			ずる(創造力) 開業効果を最大化)	艮	関連する	る県の	計画等	[ふくい観光	ビジョン)	
における位置付け 政 策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化] 関連する県の計画等 [ふくい観光ビジョン] [解決すべき問題・課題] 東京、大阪、京都などの既に多くの外国人観光客が訪れる地域と連携した本県への誘客体制の構築。																		
[事業目的]	(作出)	公公+ 古	ᅕᆂᄔᆞᅝᇄᄸ	・パラリンピック [・]	ᅛᆂᄩᆡ	98 as -	亡¦击っ	ナンビラ	5 &	の抽加が	: 日 <u>: 1</u>	はまれて声	· - + 17	5 古和4	キかこ	の話をより	1半七2	+_

[事業内容]

- (1) 東京都・東京観光財団との共同PR
- (2) 関西観光本部と連携した観光エリアの共同PR
- (3) 大阪観光局と連携した広域周遊ルートの共同PR
- (4) 京都市観光協会と連携した京都発着のショート観光ルートの共同PR
- (5) 長野県内の観光協会と連携した福井・長野の周遊旅行を共同PR

[受益者] 観光事業者	首(宿泊業、飲食、サービス業)	[想定される受益者数]	5, 288事業所(H28経済センサス)
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況		他県の状況	

東京や関西等の観光団体と連携した外国人観光客誘客促進事業

区分	継続	経	費区分	策的経費	要求	基準	内	部	局名	交流文化部		課名	観	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	· E体	県	_					■自	治事	务	■ 実	行予算	事業	R2	年度	事業終了		
事業実施	方法	直営					事 務区分			事業区分	□補	助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R5	年度
補助	率							□ 法定	受託事		□ そ	の他	年度	2	年	度)		
区分	事	 業費]庫	起	2債	そ0	D他	_	般財源			国	- 車、その他	財源の	2名称等		
予算額		10, 2	10							10, 210								
[予算額の推	移等]																(単位:	: 千円)
	区	分	•	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3 年度				令和3年	度予算	額の増減理	里由			
<u> 1</u>	前 初 予 算	額の推	 崔 移				10, 308	10, 210										
2 月	現計予	算額 0)推移				3, 408											
	決 算 額	の推利																
前年度ま 主な増減 [成果指標等	越理由																	
	区	分	•	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標			目標	・指標の考	え方・	積算根拠		
成果指標	外国人宿泊(※暦年)		人) (目標 実績	04 400						(400, 000)	令和 6 年 ※コロナ	E 40万 −影響によ	人(ふ り指標(くい観光ビ の設定見送	ジョン り(R	v) 22、R3)		
活動指標	他地域との (件)	の連携実統	責 (目標 実約				(5)	(5)										
[事業の評価	<u> </u> 		<u> </u>	₹														
		前年	度の実績				実績を踏る	まえた令和	3年度の	变更点				事	業評価	ī		
関西太部と	連携して	大阪から	滋賀県を通り	福井を周遊す	t る							拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
	を作成し、	欧米豪の)富裕層向けの								•	継続		休止		完了		
												整理統	合口	廃止		その他		

小松空港を活用した誘客プロモーション事業

区分	継続	経	費区分	1	政策的経費	要求基準	内		<u> </u>	部局名		交流文化部		課名	観	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主体 事業実施方法	:	県 直営					事 務		自	治事	務	事業区分		実行予算補 助 金	事業 開始	H27 経過年数	年度	事業終了 予定年度 (見直し年	R5	年度
補助率		_							法?	定受託	事 務			その他	年度	6	年	度)		
福井県長期ビジにおける位置付		分 政	野 策	[3 [9		ずる (創造力) ⋮のまちづくり]]		関連す	る県の)計画等	(ふくい観光	ビジョン)	

[解決すべき問題・課題]

小松空港を活用した本県への送客体制の構築。

[事業目的]

本県の魅力を航空会社等とタイアップして国内外に発信し、「本県の空の玄関口」である小松空港を活用した誘客拡大を図る。

[事業内容]

- (1) 小松空港におけるアンテナショップの運営 場所 小松空港ターミナルビル2階 約25㎡
- (2) 航空会社(JAL、ANA等)とタイアップした誘客プロモーション JAL・・・機内誌での特集記事掲載、CA等によるおもてなし講座 ほか ANA・・・機内誌での特集記事掲載 ほか
- (3) 石川県と連携したプロモーション活動 小松空港協議会負担金

[受益者] 県民、県内	7観光事業者等	[想定される受益者数]	7 9 万人
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 小松空港における恐竜王国福井発信事業 (役割分担) 恐竜ロボット等の維持費等
市町との連携状況		他県の状況	石川県 ・新幹線やのと里山空港と組み合わせた旅行商品の造成支援 ・航空会社と連携した羽田乗り継ぎ便の需要喚起

小松空港を活用した誘客プロモーション事業

区分	継続		経費区分	政策	的経費	要求	基準	内	部	局名	交流文化部	3	課名	観	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	È体	県							■自	治事	務	■実	行予算 :	事業	H27	年度			
事業実施	拖方法	直営	វ					事務区分			事業区分	□補	助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R5	年度
補助	率	_						_	□ 法定	受託事		□ そ	の他	年度	6	年	度)		
区分	事	業費		国庫	Ē	起	遺債	₹0	D他	_	般財源			国	庫、その他!	財源の)名称等		
予算額		12	, 464		3, 392						9, 072	地方創金	主推進交付金	金					
[予算額の推	移等]																	(単位:	千円)
	区		分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度				令和3年	度予算	[額の増減理	曲			
<u>≡</u>	首初 予 算	額の	推移			10, 418	12, 031	12, 464	12, 464										
2 月	現 計 予	算 額	の推移			10, 418	12, 031	5, 707											
	決 算 額	の推	移			9, 105	10, 495												
前年度ま 主な増減 	越理由																		
	区		分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3 年度	中間目標	最終目標			目標	・指標の考	え方・	積算根拠		
成果指標	観光客入设		千人)	(目標) 実績	(12, 500) 13, 043	(12, 750) 16, 969		(17, 500)	(18, 000)	(19, 00	(20, 000)	令和元年 令和6年	手目標値 2 手目標値 2	3, 000 20, 000	千人(観光: 千人(観光	新戦略 ビジョ	B H26∼F iン R2∼R		
】 活動指標	機内誌等で	での特質	集記事の	(目標)		(2)	(2)	(2)	(2)						、実施内容	を決定	ごするため		
7L 3/11 lik	掲載			実績		2	2					中間目	票、最終目標	票の設	定なし 				
[事業の評価	i]	<u> </u>	左座の中継	3			1	中华土财	+ = + 人和	の左座の	杰 市 上				声	₩ =ਜ਼ /⊐	F		
		刖	年度の実績	Į .				美領を踏り	まえた令和	3年度の	发史品					業評価			
													」 拡充		縮減		終期の見直し	見直り	し額
新型コロナ PRは実施)影響を	考慮して、	航空会	社と協力し	.t=							▮ 継続		休止		完了		
													整理統領		廃止		その他		

小松空港における恐竜王国福井発信事業

	継続	1/1	圣費区分	· 此	汝策的経費	要求基準	内		剖	『局名		交流文化部	3	課名	観	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主体	本	県					± 7/2		自	治	事 務			実行予算	事業	H26	年度	事業終了		
事業実施方	方法	直営					事 務 区 分					事業区分		補 助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率		_							法 兌	已受訊	主事 務			その他	年度	7	年	度)		
福井県長期ビ		分	野	[3	楽しみを広け	ずる (創造力))		即油寸	て旧り)計画等	r	ふくい観光	ビジュン				ו	
における位置	置付け	政	策	[9	100年に一度	のまちづくり)	'		৩ ৯ ০	が回す		ろく いぼんし					J	

[解決すべき問題・課題]

小松空港を活用した本県への送客体制の構築。

[事業目的]

「本県の空の玄関口」と位置付ける小松空港において、動く恐竜ロボット等を設置するなど本県の恐竜ブランド発信を強化し、本県への誘客拡大を図る。

[事業内容]

小松空港内に恐竜ロボット等を設置

設置場所 小松空港 1 階到着ロビー出入口横(8.96 m) 主な内容 恐竜ロボットの展示、恐竜博物館等の映像放映等

[受益者] 県民、県内	R観光事業者等	[想定される受益者数]	7 9 万人
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 小松空港を活用した誘客プロモーション事業 (役割分担) 航空会社等とのタイアップによるプロモーションを実施
市町との連携状況		他県の状況	石川県 ・新幹線やのと里山空港と組み合わせた旅行商品の造成支援 ・航空会社と連携した羽田乗り継ぎ便の需要喚起

小松空港における恐竜王国福井発信事業

区分	継続	経費区分	政策	的経費	要求	基準	内	部。	局名	交流文化部	3	課名	観	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業主	主体	県						■自	治 事 矛		■ 実	行予算	事業	H26	年度			
事業実施方法		直営					事務区分			事業区分	□補	助金	開始			予定年度 (見直し年	R4	年度
補助	率	_						□ 法定	受託事務		ロそ	の他	年度	7	年	度)		
区分 事業費 国庫 起				!債	その	の他	— j	投財源			国	車、その他	財源の	2名称等				
予算額		2, 038								2, 038								
[予算額の推	移等]																(単位:	千円)
	区	分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度				令和3年	度予算	額の増減理	理由			
<u> 1</u>	当初予算	額の推移			5, 502	2, 067	2, 038	2, 038										
2 月	現計 予	算額の推移	;		5, 502	2, 067	2, 038											
	決 算 額	の推移			5, 077	2, 028												
前年度ま 主な増減	或理由																	
[成果指標等																		
	区	<u>分</u>		平成29年度		令和元年度		3 年度	中間目標					・指標の考				
成果指標	観光客入过(※暦年)	∆数(千人)	(目標)	(12, 500) 13, 043	(12, 750) 16, 969		(17, 500)	(18, 000)	(19, 000	(20, 000)	令和元年	F目標値 1 F目標値 2	13, 000- 20, 000-	千人 (観光 千人 (観光	治新戦略 治ビジョ	各 H26~F iン R2~R		
		m	実績	13, 043	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)			,				•	
活動指標	恐竜ロボッ (基)	ノトの設置	(目標)		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	小松空港	きでの設置	数					
[事業の評価			実績		'													
[子木 [] []		前年度の実績	漬				実績を踏	まえた令和	3年度の変	变更点				事	業評価	<u> </u>		
		影響により空港 に稼働し、本県			いしたが						•	****		縮減 休止		終期の見直し	見直)額
												整理統領	合口	廃止		その他		

小松空港国際定期路線推進事業

区分継続	経費区分 政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	観光誘客課	課長名	獅子原	朋広
事業主体	県 県		■	自 治 事	務	■ 実行予算	事業 H29 年度	事業終了		
事業実施方法	直営		事 務		事業区分	口補助金	開始 経過年数	予定年度 (見直し年	R4	年度
補助率				法定受託	事務	□ その他	年度 5 年	度)		
福井県長期ビジョン	分 野 [3 楽しみを広	げる(創造力))		7 II 0 3 T 77	C > / 1 / 70 dz	. * * *			
における位置付け	■ 政 策 [9 100年に一月	度のまちづくり]	関連する	ら県の計画等	[ふくい観光	ビジョン		J	
[解決すべき問題・課題										
羽田・成田や関西	i空港以外からの流入量の確保	1								
		. •								
[事業目的]										
│ 石川県と連携し、	小松空港とアジア各国を結ぶ	【国際線の新規路線関	開設や増便を	後押しする	ことにより、	ビジネス・観	光両面での交流人口拡	大を図る。		
[声类内索]										
[事業内容]										
Z										
[受益者] 観光事業				「想定され	 ぃる受益者数]	5 288事業	 所(H 2 8 経済センサス)			
[大皿日] 就70千木	■無			I I I I I I I I I I I I I I I I I I I		□ 無	/// (11 Z O NE // C Z) / (1)			
							= ₩ <i>Þ</i>			
	□ 有 事業名						章業名			
前事業の有無・実績	(実績)				業の有無・	(役割分担)				
				役	割分担					
						Tuu lii				
ー 市町との連携状況				仙馬	具の状況	石川県 ・新幹線やのと	里山空港と組み合わせた旅	を行商品の告	北 支採	
川川とり圧汚水ル				1世分	₹ ♥ 	・航空会社と連	携した羽田乗り継ぎ便の需	ミロ 回 品 の 但 / 言要 喚 起	人义]及	
							=	, , , , <u> </u>		

小松空港国際定期路線推進事業

日報的車 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日	事業実施方法 直営	事業主		経費区分	政策的経	要	求基準	内	部	局名	交流文化部	Ī	課名	観	光誘客課		課長名	獅子原	朋広
事業実施方法 直営 日標 日標 日標 日標 日標 大子・アギース 日標 日標 日標 日標 大子・アギース 日標 日標 日標 日標 日曜 日曜 日曜 日曜	特別						市 3 /4		■ 自	治 事 務		■ 実行	行予算	事業	H29	年度			
接動車 日本の経験 日本の表験 日本の	接換字			直営		事務区分			事業	□補	助金	開始	経過年数	t		R4	年度		
子育額 7,995 7,995 7,995 7,995 7,995 (単位:子原 3年度 3年度 30年度 今和3年度予算額の増減理由 (単位:子原 3年度 3年度 3年度 9年間 9年度の登録 1,376 4,006 11,500 11,200 7,995 2月 現計 子 算額 の 推 移 1,376 4,006 11,500 0	子算額	補助	率				□法定	受託事務		ロそ	の他	年度	5	年					
【学類領の推移等】	下					起債	₹ <i>0</i>	の他	— A	 段財源			国厂	車、その作	也財源σ	2名称等			
区 分	Tuk2 0 年度 30年度 30年度 40.06 11.500 11.500 7.995 2 月 現 計 予 算 額 の 推 移	予算額		7, 995							7, 995								
当初予算額の推移 1,376 4,006 11,500 11,200 7,995 2月現計予算額の推移 1,376 4,006 11,500 0 法算額の推移 1,376 3,637 8,019 前年度までの主な情談理由 2年度 3年度 中間目標 最終目標 目標・指標の考え方・積算模拠 成果指標 (目標) 実統 (1) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (4年7川県と協議の上、活動内容を決定するため 東在7川県と協議の上、活動内容を決定するため 東在7川県と協議の上、活動内容を決定するため 東在7川県と協議の上、活動内容を決定するため 東在7川県と協議の上、活動内容を決定するため 東在7川県と協議の上、活動内容を決定するため 東在7川県と協議の上、活動内容を決定するため 東在7川県と協議の上、活動内容を決定するため 東在7川県と協議の上、活動内容を決定するため 東在7十回 前年度の実権 (事業の評価) 東統を認まえた令和3年度の変更点 事業評価 (国際定期路線の早期回復および将来のチャーター使 誘致を見描えた取り組み等に変更 超続 口 株川 口 発明の見直し 見直し 原文 財際を対験の発の手列回復および将来のチャーター使 影教を見描えた取り組み等に変更	当 初 平 算 額 の 推 移 1,376 4,006 11,500 11,200 7,995 2月 現計 予 算 額 の 推 移 1,376 4,006 11,500 0	[予算額の推	:移等]															(単位:	千円)
2月 現 計 予 算 額 の 推 移 1.376 4.006 11.500 0 R3 事業内容を小松空港国際線の早期再開および誘客回復に変更 決 算 額 の 推 移 1,376 3,637 8,019 [成果指標等の推移] [成果指標等の推移] 公 分 平成29年度 30年度 今和元年度 2年度 3年度 中間目標 最終目標 目標・指標の考え方・積算根拠 成果指標 (目標) 実績 (1) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	2月現計予算額の推移 1,376 4,006 11,500 0 R3 事業内容を小松空港国際線の早期再開および誘客回復に変更 原理指標等の推移 [成果指標等の推移] 「成果指標等の推移] 「成果指標等の推移] 「大学による県内港・「日標的 実績」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」		区	分	平成 2	9年度 30年度	令和元年度	2年度	3 年度				令和3年	度予算	額の増減	理由			
決 類 額 の 推 移 1,376 3,637 8,019 前年度までの主な増減理由 [成果指標等の推移] 区 分 平成29年度 30年度 全和元年度 2年度 3年度 中間目標 最終目標 目標・指標の考え方・積算根拠 成果指標 (目標) 実績 (目標) 実績 (1) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (4年ごとの目標設定 毎年石川県と協議の上、活動内容を決定するため 単年ごとの目標設定 「事業の評価」 新型コロナウイルスの影響により事業実施見送り 実統を踏まえた令和3年度の変更点 事業評価 新型コロナウイルスの影響により事業実施見送り 国際定期路線の早期回復および将来のチャーター便誘致を見据えた取り組み等に変更 継続 口 休止 口 完了	決算額の推移 1,376 3,637 8,019 前年度の実施 「成果指標等の推移] 「成果指標等の推移] 区分	놸	首初 予 算	額の推移		, 376 4, 00	6 11, 500	11, 200	7, 995	;									
前年度までの 主な増減理由 [成果指標等の推移]	前年度までの 主な増減理由 「成果指標等の推移	2 月	現 計 予	算額の推移		, 376 4, 00	6 11, 500	0		R3 事第	 関内容を小松	空港国際	系線の早期 再	再開お。	よび誘客回	復に変	更		
主な増減理由	注		決 算 額	の推移		, 376 3, 63	7 8, 019												
区 分 平成29年度 30年度 30年度 令和元年度 2年度 3年度 中間目標 最終目標 目標・指標の考え方・積算根拠 国際定期路線の開拓を後押しするものであり、成果指標の設定なり 実績 「1」「3」「3」「3」「3」「3」「4」「4」「4」「4」「5」「5」「5」「5」「5」「5」「6」「6」「6」「6」「6」「6」「6」「6」「6」「6」「6」「6」「6」	区分 平成29年度 30年度 令和元年度 2年度 3年度 中間目標 最終目標 目標・指標の考え方・積算根拠 成果指標 (目標) 実績 (目標) 実績 (1) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3																		
成果指標 (目標) 実績 国際定期路線の開拓を後押しするものであり、成果指標の設定なり 実績 国際定期路線の開拓を後押しするものであり、成果指標の設定なり	成果指標																		
大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	大学																		
活動指標 京	活動指標		の推移]	分	平成2	9年度 30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標			目標	- 指標のネ	考え方・	積算根拠		
前年度の実績 実績を踏まえた令和3年度の変更点 事業評価 「 拡充 「 縮減 「 終期の見直し 見直しま	前年度の実績 実績を踏まえた令和3年度の変更点 事業評価	[成果指標等	の推移]	分	(目標)	9年度 30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標		国際定期	明路線の開持					票の設定な	≆ し
新型コロナウイルスの影響により事業実施見送り 国際定期路線の早期回復および将来のチャーター便 誘致を見据えた取り組み等に変更 ■ 継続 □ 休止 □ 完了	新型コロナウイルスの影響により事業実施見送り 国際定期路線の早期回復および将来のチャーター便	[成果指標等 成果指標 活動指標	の推移] 区 メディア等 察		(目標) 実績 (目標)				3 年度	中間目標		毎年石川	県と協議の	石を後 ¹ の上、2	押しするも	ものであ	5り、成果指標	票の設定な	≆l
新型コロナウイルスの影響により事業実施見送り 国際定期路線の早期回復および将来のチャーター便 誘致を見据えた取り組み等に変更 ■ 継続 □ 休止 □ 完了	新型コロナウイルスの影響により事業実施見送り 国際定期路線の早期回復および将来のチャーター便 誘致を見据えた取り組み等に変更 ■ 継続 □ 休止 □ 完了	[成果指標等 成果指標 活動指標	の推移] 区 メディア等 察	による県内視	(目標) 実績 (目標) 実績			(3)				毎年石川	県と協議の	石を後 ¹ の上、2	押しするも	ものであ	5り、成果指標 ⁻ るため	票の設定な	≆L
		[成果指標等 成果指標 活動指標	の推移] 区 メディア等 察	による県内視	(目標) 実績 (目標) 実績			(3)				毎年石川	県と協議の	石を後 ¹ の上、2	押しするも	ものであ	5り、成果指標 ⁻ るため		
□ 整理統合 □ 廃止 □ その他 □ である □ □ である □ である □ である □ である □ である □ である □ □ である □ である □ である □ である □ である □ である □ □ である □ である □ □ □ である □ □ □ □ □ □ □ □ □		[成果指標等 成果指標 活動指標 [事業の評価	の推移] 区 メディア等 察 i]	による県内視 前年度の実績	(目標) 実績 (目標) 実績) (3) 1	実績を踏	まえた令和朝回復およ	3年度の変	更点	毎年石川単年ごと	I県と協議(この目標設) 拡充 継続	石を後書 の上、注	押しするも 活動内容を 縮減 休止	を決定す	5り、成果指標 - るため - るため - 8期の見直し 完了		